

人文社会科学部 文芸・言語専攻(一貫制博士課程)

専門科目(文学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS101	総合文学演習(1A)	2	1.5	1-5					多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DS102	総合文学演習(1B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DS103	総合文学演習(2A)	2	1.5	1-5					多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2017年度より4年おき開講。
02DS104	総合文学演習(2B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2017年度より4年おき開講。
02DS105	総合文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	共同利用棟 A103	青柳 悦子, 加藤 百合, 齋藤 一, 吉原 ゆかり	多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2018年度より4年おき開講。
02DS106	総合文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	共同利用棟 A103	青柳 悦子, 加藤 百合, 齋藤 一, 吉原 ゆかり	春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2018年度より4年おき開講。
02DS107	総合文学演習(4A)	2	1.5	1-5					多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DS108	総合文学演習(4B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DS109	総合文学演習(5A)	2	1.5	1-5					多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2015年度より4年おき開講。
02DS110	総合文学演習(5B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2015年度より4年おき開講。
02DS111	文学理論研究(1A)	1	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2016年度より4年おき開講。
02DS112	文学理論研究(1B)	1	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2016年度より4年おき開講。
02DS113	文学理論研究(2A)	1	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2017年度より4年おき開講。
02DS114	文学理論研究(2B)	1	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2017年度より4年おき開講。
02DS115	文学理論研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社 A201	青柳 悦子	文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2018年度より4年おき開講。
02DS116	文学理論研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社 A202	青柳 悦子	春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2018年度より4年おき開講。
02DS117	文学理論研究(4A)	1	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2014年度より4年おき開講。
02DS118	文学理論研究(4B)	1	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2014年度より4年おき開講。
02DS119	文学理論研究(5A)	1	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2015年度より4年おき開講。
02DS120	文学理論研究(5B)	1	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2015年度より4年おき開講。
02DS125	文学理論演習(3A)	2	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS126	文学理論演習(3B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS127	文学理論演習(4A)	2	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2014年度より4年おき開講。
02DS128	文学理論演習(4B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2014年度より4年おき開講。
02DS131	文学文化論研究(1A)	1	1.5	1-5					欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間論文の執筆を目指している院生向けの授業となる。 2016年度より4年おき開講。
02DS132	文学文化論研究(1B)	1	1.5	1-5					欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間論文の執筆を目指している院生向けの授業となる。 2016年度より4年おき開講。
02DS133	文学文化論研究(2A)	1	1.5	1-5					欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。 2017年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
02DS134	文学文化論研究(2B)		1	1.5	1 - 5				欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。 2017年度より4年おき開講。	
02DS135	文学文化論研究(3A)		1	1.5	1 - 5	春ABC	月3	人社 A510	齋藤 一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS136	文学文化論研究(3B)		1	1.5	1 - 5	秋ABC	月3	人社 A510	齋藤 一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS137	文学文化論研究(4A)		1	1.5	1 - 5				欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。 2014年度より4年おき開講。	
02DS138	文学文化論研究(4B)		1	1.5	1 - 5				欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。 2014年度より4年おき開講。	
02DS139	文学文化論研究(5A)		1	1.5	1 - 5				欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指す学生向けの授業となる。 2015年度より4年おき開講。	
02DS140	文学文化論研究(5B)		1	1.5	1 - 5				欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指す学生向けの授業となる。 2015年度より4年おき開講。	
02DS141	文学文化論演習(1A)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文の執筆を目指している院生向けの授業となる。 2016年度より4年おき開講。	
02DS142	文学文化論演習(1B)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文の執筆を目指している院生向けの授業となる。 2016年度より4年おき開講。	
02DS143	文学文化論演習(2A)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文の執筆を目指している学生向けの授業となる。 2017年度より4年おき開講。	
02DS144	文学文化論演習(2B)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文の執筆を目指す学生向けの授業となる。 2017年度より4年おき開講。	
02DS145	文学文化論演習(3A)		2	1.5	1 - 5	春ABC	月4	人社 A510	齋藤 一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS146	文学文化論演習(3B)		2	1.5	1 - 5	秋ABC	月4	人社 A510	齋藤 一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS147	文学文化論演習(4A)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文執筆を目指す学生向けの授業となる。 2014年度より4年おき開講。	
02DS148	文学文化論演習(4B)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文執筆を目指す学生向けの授業となる。 2014年度より4年おき開講。	
02DS149	文学文化論演習(5A)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文執筆を目指す学生向けの授業となる。 2015年度より4年おき開講。	
02DS150	文学文化論演習(5B)		2	1.5	1 - 5				最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文執筆を目指す学生向けの授業となる。 2015年度より4年おき開講。	
02DS151	文学交流論研究(1A)		1	1.5	1 - 5				Acquiring academic skills.	2016年度より4年おき開講。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS152	文学交流論研究(1B)	1	1.5	1 - 5					Academic writing skills	2016年度より4年おき開講。
02DS153	文学交流論研究(2A)	1	1.5	1 - 5					Readings in academic articles about Japanese culture and literature written in English.	英語を併用する We read articles written in English and class is conducted by both in Japanese and English. 2017年度より4年おき開講。
02DS154	文学交流論研究(2B)	1	1.5	1 - 5					Readings in academic writings on critical theories on Japanese literature and culture in English.	英語を併用する We read articles and books written in English and class is given both in Japanese and English. 2017年度より4年おき開講。
02DS155	文学交流論研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月2	人社A201	吉原 ゆかり	文学交流に関わる初歩的な研究論文(英語・日本語)を読む。Readings in academic articles on cultural exchanges (English and Japanese).	英語・日本語を併用する。Classes are given both in English and Japanese. 2018年度より4年おき開講。
02DS156	文学交流論研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月2	人社A201	吉原 ゆかり	文学交流に関わる中級の研究論文を読む。文学交流に関わる初歩的な研究論文(英語・日本語)を読む。Readings in academic articles on cultural exchanges (advanced) (English and Japanese).	日本語と英語を併用する。Classes are given in English and Japanese. 2018年度より4年おき開講。
02DS158	文学交流論研究(4B)	1	1.5	1 - 5					日本語もしくは英語による、文化理論の精読。	2014年度より4年おき開講。
02DS159	文学交流論研究(5A)	1	1.5	1 - 5					さまざまな文化テキストの、脱領域的交流と相互交渉について研究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS160	文学交流論研究(5B)	1	1.5	1 - 5					英語もしくは日本語で書かれたさまざまな文化テキストが、人やものの移動に伴って地域や文化圏域を越えて交流し変容するさまを研究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS161	文学交流論演習(1A)	2	1.5	1 - 5					Readings in literatures written in Japanese.	日本語作品を読む。We read modern Japanese literature in original, and class is given both in Japanese and English. 2016年度より4年おき開講。
02DS162	文学交流論演習(1B)	2	1.5	1 - 5					Close and critical readings of literatures written in Japanese and English.	日本語を併用する We read modern Japanese literary texts in their originals and class is conducted by both in English and Japanese. 2016年度より4年おき開講。
02DS163	文学交流論演習(2A)	2	1.5	1 - 5					Readings in literatures written in Japanese.	日本語を併用する We read Japanese literatures in original Japanese, and class is given both in English and Japanese. 2017年度より4年おき開講。英語で授業。
02DS164	文学交流論演習(2B)	2	1.5	1 - 5					Close and analytical readings in literatures written in Japanese.	日本語を併用する。We read literature written in Japanese in their originals, and class is conducted both in Japanese and English. 2017年度より4年おき開講。英語で授業。
02DS165	文学交流論演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	火3	人社A201	吉原 ゆかり	文学交流に関わる、基礎的なリサーチと研究の実際を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS166	文学交流論演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	人社A201	吉原 ゆかり	文学交流に関わる、より専門的なリサーチと研究の実際を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS168	文学交流論演習(4B)	2	1.5	1-5					英語もしくは日本語による、文化テキストの精読。	2014年度より4年おき開講。
02DS169	文学交流論演習(5A)	2	1.5	1-5					日本語もしくは英語による文学文化テキストが、国際関係の展開やひととモノの流通に随伴して、ことなる文化や社会と交流していくさまを、演習形式で学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS170	文学交流論演習(5B)	2	1.5	1-5					日本語もしくは英語による文学文化テキストが、国際関係の展開やひととモノの流通に随伴して、異なる文化や社会と交流して変容していくさまを、演習形式で学ぶ。ジェンダー理論およびポストコロニアル理論によるアプローチにとくに力点を置く。	2015年度より4年おき開講。
02DS171	比較文学研究(1)	1	1.5	1-5					明治以降の文学テキストおよび文学論、文学論争、回想記、雑誌記事等を読み、各自の研究対象とする時期の文学状況を再現的に研究する。	2016年度より4年おき開講。
02DS172	比較文学研究(2)	1	1.5	1-5					明治時代の文学状況を比較文学的に捉える。初出(当時のかたち)テキストを読む訓練をおこなう。	2017年度より4年おき開講。
02DS173	比較文学研究(3)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社A206	加藤 百合	明治文学研究のための資料を読む。	
02DS174	比較文学研究(4)	1	1.5	1-5					明治時代の文学状況を比較文学的に捉える。初出(当時のかたち)テキストを読む訓練をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DS175	比較文学研究(5)	1	1.5	1-5					明治以降の文学テキストおよび文学論、文学論争、回想記、雑誌記事等を読み、各自の研究対象とする時期の文学状況を再現的に研究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS176	比較文学演習(1)	2	1.5	1-5					演習形式とし、各自の研究対象とするテキストを周辺の文献と併せて読み、その同時代的評価および現在から振り返っての評価を試みる訓練を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS177	比較文学演習(2)	2	1.5	1-5					演習形式とし、各自の研究対象とするテキストを周辺の文献と併せて読み、その同時代的評価および現在から振り返っての評価を試みる訓練を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DS178	比較文学演習(3)	2	1.5	1-5	秋ABC	木2	人社A206	加藤 百合	明治文学研究のための資料を読む。演習中心	
02DS179	比較文学演習(4)	2	1.5	1-5					翻訳などさまざまなかたちで西欧文化を摂取しようとした過程、またその過程において生じた誤解や変容について、演習形式で多面的にとりあげる。	2014年度より4年おき開講。
02DS180	比較文学演習(5)	2	1.5	1-5					演習形式とし、各自の研究対象とするテキストを周辺の文献と併せて読み、その同時代的評価および現在から振り返っての評価を試みる訓練を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS187	総合文化研究(4A)	1	1.5	1-5					比較文学批評の英語文献講読・討論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS188	総合文化研究(4B)	1	1.5	1-5					比較文化批評・理論の英語文献講読と討論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS189	総合文化研究(5A)	1	1.5	1-5					文学批評の英語文献講読・討論を行う。	AC406にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS190	総合文化研究(5B)	1	1.5	1-5					文化理論の英語文献の講読と討論を行う。	AC406にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS196	総合文化演習(3B)	2	1.5	1-5					文化批評の英語文献講読・討論 日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS203	西洋古典学研究(1A)	1	1.5	1-5					Exercise in the Ancient Greek Prose. ギリシア語散文研究。昨年度まではアリストテレス『動物発生論』研究であった。今年度の対象は受講者と協議して決定する。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS204	西洋古典学研究(1B)	1	1.5	1-5					Continuation of the First Semester. 前期の継続。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS205	西洋古典学研究(2A)	1	1.5	1-5					ギリシア語韻文研究。古典ギリシア語による演習。	2017年度より4年おき開講。
02DS206	西洋古典学研究(2B)	1	1.5	1-5					前期の継続。古典ギリシア語韻文研究。	2017年度より4年おき開講。
02DS207	西洋古典学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金3	人社A508	秋山 学	アリストテレス研究。『ニコマコス倫理学』をギリシア語原典で講読する(継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS208	西洋古典学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金3	人社A508	秋山 学	アリストテレス研究。『ニコマコス倫理学』をギリシア語原典で講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS209	西洋古典学研究(4A)	1	1.5	1-5					ギリシア語散文文献講読。今年度は昨年度の続きとして、アリストテレス『動物発生論』を読む予定。関連文献として、ギリシア哲学関係の他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS210	西洋古典学研究(4B)	1	1.5	1-5					ギリシア語散文文献講読。前期に続き、アリストテレス『動物発生論』を読む予定。関連文献として、ギリシア哲学関係の他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS211	西洋古典学研究(5A)	1	1.5	1-5					アリストテレス『動物発生論』研究の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS212	西洋古典学研究(5B)	1	1.5	1-5					前期に続き、『アリストテレス』動物発生論研究を継続する。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS213	西洋古典学演習(1A)	2	1.5	1-5					Research into the Scholastic Theology (Thomas Aquinas). トマス・アクィナス研究。『神学大全』第11・2部第7問より読み進む。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS214	西洋古典学演習(1B)	2	1.5	1-5					前期の継続。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS215	西洋古典学演習(2A)	2	1.5	1-5					中世スコラ哲学テキスト研究。ラテン語による講読。	2017年度より4年おき開講。
02DS216	西洋古典学演習(2B)	2	1.5	1-5					Continuation of the First Semester. 前期の継続。	2017年度より4年おき開講。
02DS217	西洋古典学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A508	秋山 学	トマス・アクィナス研究。『神学大全』II-2から枢要徳関連の問題についてラテン語原典で講読する(継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS218	西洋古典学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A508	秋山 学	トマス・アクィナス研究。『神学大全』II-2から枢要徳関連の問題についてラテン語原典で講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS219	西洋古典学演習(4A)	2	1.5	1-5					ラテン語散文文献講読の予定。今年度は昨年度からの続きとして、アウグスティヌス『神国論』を読み進む予定。関連して教父たちの他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS220	西洋古典学演習(4B)	2	1.5	1-5					ラテン語散文文献講読の予定。前期からの続きとして、アウグスティヌス『神国論』を読み進む予定。関連して教父たちの他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS221	西洋古典学演習(5A)	2	1.5	1-5					トマス・アクィナス『神学大全』第2部研究。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS222	西洋古典学演習(5B)	2	1.5	1-5					トマス・アクィナス『神学大全』第2部研究の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS223	古典古代学研究(1A)	1	1.5	1-5					Research into the Ancient Persian Grammar. 古代ペルシャ語研究。Reichert による文法書・テキストを用いての古代印欧語比較文法論。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS224	古典古代学研究(1B)	1	1.5	1-5					Continuation of the First Semester. 前期の継続。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS225	古典古代学研究(2A)	1	1.5	1-5					イタリア語文献講読。古典古代(または美術史)学の論文を読む。	2017年度より4年おき開講。
02DS226	古典古代学研究(2B)	1	1.5	1-5					前期の継続。イタリア語文献講読。	2017年度より4年おき開講。
02DS227	古典古代学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	応談	人社A508	秋山 学	ルネサンス期文献研究。マキャベッリの著作等を、イタリア語原典で講読する。	2018年度より4年おき開講。
02DS228	古典古代学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	ルネサンス期文献研究。ロレンツォ・デ・メディチの書簡等を、イタリア語原典で講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS229	古典古代学研究(4A)	1	1.5	1-5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じて文献講読を行う。個人指導の時間において、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時間は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。 2014年度より4年おき開講。
02DS230	古典古代学研究(4B)	1	1.5	1-5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じて文献講読を行う。個人指導の時間において、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時間は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。 2014年度より4年おき開講。
02DS231	古典古代学研究(5A)	1	1.5	1-5					エウリピデス悲劇研究。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS232	古典古代学研究(5B)	1	1.5	1-5					エウリピデス悲劇研究の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS233	古典古代学演習(1A)	2	1.5	1 - 5					Comparative Grammar Research into the Hungarian and the Japanese Language. ハンガリー語・日本語対照文法・翻訳論研究。テキストは受講者と協議して決定する。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS234	古典古代学演習(1B)	2	1.5	1 - 5					Continuation of the First Semester. 前期の継続。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS235	古典古代学演習(2A)	2	1.5	1 - 5					比較対照言語学研究。ハンガリー語・日本語対照文法・翻訳論研究。	2017年度より4年おき開講。
02DS236	古典古代学演習(2B)	2	1.5	1 - 5					前期の継続。ハンガリー語・日本語対照文法研究。	2017年度より4年おき開講。
02DS237	古典古代学演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	応談	人社A508	秋山 学	インド・ヨーロッパ語族古典文献講読。アヴェスター・サンスクリット関連の文献を講読する(継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS238	古典古代学演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	インド・ヨーロッパ語族古典文献講読。アヴェスター・サンスクリット関連の文献を講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS239	古典古代学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じ、ゼミ形式で個人指導を行い、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること、 2014年度より4年おき開講。
02DS240	古典古代学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じ、ゼミ形式で個人指導を行い、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること、 2014年度より4年おき開講。
02DS241	古典古代学演習(5A)	2	1.5	1 - 5					オウィディウス講読演習。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS242	古典古代学演習(5B)	2	1.5	1 - 5					オウィディウス講読演習の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS243	古典古代学特殊研究 I(1A)	1	1.5	1 - 5					Seminar of the Topics in the Classical Studies. 古典古代学研究者のためのゼミナール。受講者による発表形式。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS244	古典古代学特殊研究 I(1B)	1	1.5	1 - 5					Continuation of the First Semester. 前期の継続。	教室は人社A508 研究室 2016年度より4年おき開講。
02DS245	古典古代学特殊研究 I(2A)	1	1.5	1 - 5					聖書学を中心とした演習。受講者による発表形式。	2017年度より4年おき開講。
02DS246	古典古代学特殊研究 I(2B)	1	1.5	1 - 5					前期の継続。口頭発表練習。	2017年度より4年おき開講。
02DS247	古典古代学特殊研究 I(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	応談	人社A508	秋山 学	聖書学・古典古代学演習。知恵文学関連の文献をテキストにする(ヘブル語原典講読;継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS248	古典古代学特殊研究 I(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	聖書学・古典古代学演習。知恵文学関連の文献をテキストにする(ヘブル語原典講読;春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS251	古典古代学特殊研究 I(5A)	1	1.5	1 - 5					旧約聖書テキスト講読演習	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS252	古典古代学特殊研究 I(5B)	1	1.5	1 - 5					旧約聖書テキスト講読演習(継続)	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS260	映画理論研究(4)	1	1.5	1 - 5					主に英米圏で盛んになったメロドラマ映画理論を講読する	2014年度より4年おき開講。
02DS261	映画理論演習(4)	1	1.5	1 - 5					非西洋圏のメロドラマ映画論を検討し、映画テキストを実際に分析する	2014年度より4年おき開講。
02DS263	映画理論演習(5)	2	1.5	1 - 5						2015/6/22 開講中止 2015年度より4年おき開講。 本年度開講中止
02DS280	総合文学特別演習	2	2.0	1 - 5						2016年度より4年おき開講。
02DS301	日本文学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					筑波大学に所蔵される版本の書誌調査を通じて、文献学の基礎を学ぶ。	2016年度より4年おき開講。
02DS302	日本文学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					筑波大学所蔵の版本について解題を作成する。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS303	日本文学研究(2A)	1	1.5	1-5					筑波大学に所蔵される版本の書誌調査を通じて、文献学の基礎を学ぶ。	初日4月11日は人社A201にて行う。その後図書館にて講義する。2017年度より4年おき開講。
02DS304	日本文学研究(2B)	1	1.5	1-5					筑波大学所蔵の版本について解題を作成する。	図書館にて講義する。2017年度より4年おき開講。
02DS305	日本文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	人社A620	清登 典子	古典籍の文献学的な分析方法の基本を学ぶ。本年は近世期文献を取り上げる。	2018年度より4年おき開講。
02DS306	日本文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	人社A620	清登 典子	古典籍の現物調査をおこない、文献学的に分析を行う。本年度は近世期文献を取り上げる。	2018年度より4年おき開講。
02DS307	日本文学研究(4A)	1	1.5	1-5					古典籍の文献学的な研究方法について学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DS308	日本文学研究(4B)	1	1.5	1-5					実際に古典籍の調査・分析を行い、文献学的な問題を考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS309	日本文学研究(5A)	1	1.5	1-5					筑波大学に所蔵される古典籍の調査を通じて、文献学の基礎を学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS310	日本文学研究(5B)	1	1.5	1-5					筑波大学所蔵の古典籍を諸本と比較しながら読むことで文献学的な問題をかんがえる。	2015年度より4年おき開講。
02DS311	和漢比較文学研究(1A)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、訓点や声点などに注目して、博士家を中心とした日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2016年度より4年おき開講。
02DS312	和漢比較文学研究(1B)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づきつつ、主要諸本と比較対照することから、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2016年度より4年おき開講。
02DS313	和漢比較文学研究(2A)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、訓点や声点などに注目して、博士家を中心とした日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2017年度より4年おき開講。
02DS314	和漢比較文学研究(2B)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づきつつ、主要諸本と比較対照することから、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2017年度より4年おき開講。
02DS315	和漢比較文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2018年度より4年おき開講。
02DS316	和漢比較文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2018年度より4年おき開講。
02DS317	和漢比較文学研究(4A)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2014年度より4年おき開講。
02DS318	和漢比較文学研究(4B)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2014年度より4年おき開講。
02DS319	和漢比較文学研究(5A)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、訓点や声点などに注目して、博士家を中心とした日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2015年度より4年おき開講。
02DS320	和漢比較文学研究(5B)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づきつつ、主要諸本と比較対照することから、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2015年度より4年おき開講。
02DS323	日本古代文学研究(2A)	1	1.5	1-5					前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2017年度より4年おき開講。
02DS324	日本古代文学研究(2B)	1	1.5	1-5					素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2017年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS325	日本古代文学研究 (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火2	人社 A620	谷口 孝介	儒家出身で『句題和歌』を編んだ大江千里の『古今和歌集』入集歌を逐一注解する。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2018年度より4年おき開講。
02DS326	日本古代文学研究 (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火2	人社 A620	谷口 孝介	大江千里の『古今和歌集』入集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2018年度より4年おき開講。
02DS329	日本古代文学研究 (5A)	1	1.5	1 - 5					前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌(四季歌)を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS330	日本古代文学研究 (5B)	1	1.5	1 - 5					素性の古今集歌(四季歌)を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS331	日本古代文学演習 (1A)	2	1.5	1 - 5					前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2016年度より4年おき開講。
02DS332	日本古代文学演習 (1B)	2	1.5	1 - 5					素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2016年度より4年おき開講。
02DS337	日本古代文学演習 (4A)	2	1.5	1 - 5					前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2014年度より4年おき開講。
02DS338	日本古代文学演習 (4B)	2	1.5	1 - 5					素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2014年度より4年おき開講。
02DS340	日本古代文学演習 (5B)	2	1.5	1 - 5					古代文学に関する近時の研究論文の中から各自の問題意識に即して1編を選び、論述の内容について批判的に読み込み、みずから分析してその成果を発表する。また、研究史にも触れ、残された問題が奈辺にあるかについて考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DS341	日本中古文学研究 (1A)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』注釈史について勉強する。古注、旧注を見、文学史の問題を意識しながら、この作品がどのように理解されようとしたかを考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DS342	日本中古文学研究 (1B)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』賢木巻をよむ。古注所引の歴史記述に注目してすすめる。	2016年度より4年おき開講。
02DS343	日本中古文学研究 (2A)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』注釈史研究。	2017年度より4年おき開講。
02DS344	日本中古文学研究 (2B)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』注釈所引の歴史記述にかんする研究。	2017年度より4年おき開講。
02DS345	日本中古文学研究 (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木2	人社 A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS346	日本中古文学研究 (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木2	人社 A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。文学史の問題を意識しながら、この作品がどのように理解されようとしたかを具体的に考察する。	2018年度より4年おき開講。
02DS347	日本中古文学研究 (4A)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』をよむ。江戸のゆたかな出版文化が『源氏物語』享受をどのようにかえていったかということ、文学史の問題を意識しながら、『湖月抄』、『首書源氏物語』の本文、注釈に注目して考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DS348	日本中古文学研究 (4B)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目して考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS349	日本中古文学研究 (5A)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目し、年代記類生成の状況を探る。	2015年度より4年おき開講。
02DS350	日本中古文学研究 (5B)	1	1.5	1 - 5					『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注と『帝王編年記』を中心にとりあげる。	2015年度より4年おき開講。
02DS351	日本中古文学演習 (1A)	2	1.5	1 - 5					『源氏物語』夕顔巻をよむ。注釈史の基礎を学び、近世末までの夕顔巻理解の現場について考える。	2016年度より4年おき開講。
02DS352	日本中古文学演習 (1B)	2	1.5	1 - 5					『源氏物語』夕顔巻をよむ。年立研究を中心にとりあげる。	2016年度より4年おき開講。
02DS353	日本中古文学演習 (2A)	2	1.5	1 - 5					『源氏物語』紅葉賀巻を、花宴巻との関連を考えながらよむ。	2017年度より4年おき開講。 01B4518と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS354	日本中古文学演習(2B)	2	1.5	1-5					『源氏物語』紅葉巻巻、花宴巻をよむ。	2017年度より4年おき開講。 01B4519と同一。
02DS355	日本中古文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』薄雲巻をよむ。青表紙本系諸本と尾州家本系諸本とを見あわせ、古注、旧注の作品理解の基盤を具体的に考察する。	2018年度より4年おき開講。 01B4510と同一。
02DS356	日本中古文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』薄雲巻をよむ。文学史の問題を意識し、本文間に異文が生じた経緯を、注釈書の記事から考察することを中心とする。	2018年度より4年おき開講。 01B4511と同一。
02DS357	日本中古文学演習(4A)	2	1.5	1-5					『日本書紀』講読。とくに、『古事記伝』の、『日本書紀』にたいするこだわり方に注目する。	2014年度より4年おき開講。
02DS358	日本中古文学演習(4B)	2	1.5	1-5					『日本書紀』講読。官撰国史が断絶した後の歴史記述について、近世まで射程をのばして考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DS359	日本中古文学演習(5A)	2	1.5	1-5					『源氏物語』賢木巻をよむ。古注、旧注の説と、その基盤となった教養について考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DS360	日本中古文学演習(5B)	2	1.5	1-5					『源氏物語』賢木巻をよむ。『源氏物語』とその注釈双方に常識として共有されていたと見られる『三教指帰』、『三教指帰』注に注目しながらすすめる。	2015年度より4年おき開講。
02DS361	日本中世文学研究(1A)	1	1.5	1-5					中世文学研究の現状と課題について把握するとともに、研究対象の分析能力を高める。	2016年度より4年おき開講。
02DS362	日本中世文学研究(1B)	1	1.5	1-5					中世文学研究の現状と研究課題について把握するとともに、あらたな研究テーマについて綿密な分析を通して模索する。	2016年度より4年おき開講。
02DS365	日本中世文学研究(3A)	1	1.5	1-5					中世の法会・唱導文献を読解するための基礎的訓練を行う。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS366	日本中世文学研究(3B)	1	1.5	1-5					中世の法会・唱導文献を読解するための応用的訓練を行う。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS367	日本中世文学研究(4A)	1	1.5	1-5					中世文学を研究する上で必要な知識を身につけ、現在の研究状況について把握する。あわせてあらたな研究テーマについて受講生が実践的に模索する。	2014年度より4年おき開講。
02DS368	日本中世文学研究(4B)	1	1.5	1-5					中世文学研究におけるあらたな研究テーマについて調査・分析を行い、論文にまとめるための訓練を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS369	日本中世文学研究(5A)	1	1.5	1-5					中世文学研究の現状と課題について把握するとともに、研究対象の分析能力を高める。	2015年度より4年おき開講。
02DS370	日本中世文学研究(5B)	1	1.5	1-5					中世文学研究の現状と研究課題について把握するとともに、あらたな研究テーマについて綿密な分析を通して模索する。	2015年度より4年おき開講。
02DS371	日本中世文学演習(1A)	2	1.5	1-5					中世の唱導資料を読む。影印本文の翻字作業は当然として、注釈作業を重視する。	2016年度より4年おき開講。
02DS372	日本中世文学演習(1B)	2	1.5	1-5					中世の唱導資料を読む。注釈作業を重ねつつ、資料の有する意義についても考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DS375	日本中世文学演習(3A)	2	1.5	1-5					中世文学読解のための基礎的演習をさまざまなジャンルに於いて試みる。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS376	日本中世文学演習(3B)	2	1.5	1-5					中世文学読解のための応用的演習をさまざまなジャンルに於いて試みる。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS377	日本中世文学演習(4A)	2	1.5	1-5					中世寺院における唱導資料輪読。	2014年度より4年おき開講。
02DS378	日本中世文学演習(4B)	2	1.5	1-5					中世寺院における唱導資料を輪読するとともに、研究課題としてのテーマを探る。	2014年度より4年おき開講。
02DS379	日本中世文学演習(5A)	2	1.5	1-5					中世寺院の唱導資料輪読。	2015年度より4年おき開講。
02DS380	日本中世文学演習(5B)	2	1.5	1-5					中世寺院の唱導資料を輪読するとともに、研究テーマとしての意義を考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS381	日本近世文学研究(1A)	1	1.5	1-5					原本の出現した『夜半亭蕪村句集』に見える新出句のうち秋の発句について、一句一句詳しい検討を加えて解釈していく。受講生の発表と討議に基づいて授業を進めていく。	2016年度より4年おき開講。
02DS382	日本近世文学研究(1B)	1	1.5	1-5					原本の出現した『夜半亭蕪村句集』に見える新出句のうち冬の発句について取り上げ、一句一句詳しい検討を加えて解釈していく。受講生の発表と討議に基づき授業を進める。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS383	日本近世文学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					原本の出現した『夜半亭蕪村句集』に見える新出句のうち春の発句について、一句一句詳しい検討を加えて解釈していく。受講生の発表と討議に基づいて授業を進めていく。	2017年度より4年おき開講。
02DS384	日本近世文学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					原本の出現した『夜半亭蕪村句集』に見える新出句のうち夏の発句について、一句一句詳しい検討を加えて解釈していく。受講生の発表と討議に基づいて授業を進めていく。	2017年度より4年おき開講。
02DS385	日本近世文学研究(3A)	1	1.5	1 - 5					秋の季語の用いられ方について、和歌における用例からみた詠まれ方と俳諧における用例から見た詠まれ方の比較を通じて検討し、その特色を明らかにしていく。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS386	日本近世文学研究(3B)	1	1.5	1 - 5					秋の季語の用いられ方について、芭蕉・蕪村における用いられ方を比較検討し、その特色を明らかにしていく。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS387	日本近世文学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					近世俳諧における季語の用いられ方について、和歌における用法と比較しつつ検討し、明らかにする。今年は秋の季語を取り上げる。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS388	日本近世文学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					近世俳諧の季語の用いられ方について、芭蕉・蕪村等の場合を取り上げて比較検討しつつ明らかにする。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS389	日本近世文学研究(5A)	1	1.5	1 - 5					近世俳諧における季語のうち、秋の季語を取り上げ、和歌に於ける用い方と比較して検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。
02DS390	日本近世文学研究(5B)	1	1.5	1 - 5					近世俳諧における季語のうち、秋の季語を取り上げ、近世初期俳諧、芭蕉俳諧、蕪村俳諧における用例を比較して検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。
02DS391	日本近世文学演習(1A)	2	1.5	1 - 5					受講生それぞれの研究テーマに基づいた研究発表を行い、それに対する質疑と討議により授業を進める。	2016年度より4年おき開講。
02DS392	日本近世文学演習(1B)	2	1.5	1 - 5					受講生それぞれの研究テーマに基づいた研究発表を行ってもらい、質疑と討議を行うことで授業をすすめていく。	2016年度より4年おき開講。
02DS393	日本近世文学演習(2A)	2	1.5	1 - 5					近世文学についてのこれまでの研究の流れと現在の研究動向とを踏まえたうえで、受講生それぞれが自身の研究の立ち位置と向かうべき方向とを見定め、研究テーマについて発表し、他の受講生からの疑問、批判を受けることで、考えを深めていく。	2017年度より4年おき開講。
02DS394	日本近世文学演習(2B)	2	1.5	1 - 5					近世文学研究のこれまでの流れと現在の研究動向とを踏まえたうえで、受講生それぞれが自身の研究テーマについて発表し、他の受講生からの批判、疑問を受けることで、自身の考えを深めていく。	2017年度より4年おき開講。
02DS395	日本近世文学演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	月5	人社A604	清登 典子	近世文学研究の現状を踏まえて、各自がどのように研究を進めていくかについて発表と討議を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS396	日本近世文学演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	月5	人社A604	清登 典子	近世文学研究の課題と展望を踏まえて、各自の研究テーマをどのように発展させていくかについての発表と討議とによって授業を進める。	2018年度より4年おき開講。
02DS397	日本近世文学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					芭蕉の初期俳諧作品を取り上げて検討を加え、蕪村俳諧における言葉の用い方や技法などについて明らかにする。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS398	日本近世文学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					芭蕉の句合わせ作品を取り上げて検討を加え、そこに見られる俳諧技法や美意識を明らかにする。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS399	日本近世文学演習(5A)	2	1.5	1 - 5					近世における「俳文」作品を取り上げ、内容、表現上の特色について検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。
02DS400	日本近世文学演習(5B)	2	1.5	1 - 5					松尾芭蕉の「俳文」作品を取り上げ、内容、表現上の特色について検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。
02DS401	日本近代文学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2016年度より4年おき開講。
02DS402	日本近代文学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2016年度より4年おき開講。
02DS403	日本近代文学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2017年度より4年おき開講。 01B4369と同一。
02DS404	日本近代文学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2017年度より4年おき開講。 01B4370と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS405	日本近代文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A202	馬場 美佳	明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2018年度より4年おき開講。 01B4360と同一。
02DS406	日本近代文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A202	馬場 美佳	明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2018年度より4年おき開講。 01B4363と同一。
02DS407	日本近代文学研究(4A)	1	1.5	1-5					森鷗外の〈豊熟の時代〉の作品のうち、特に明治期のものを読み、それぞれの作品の研究の現況について考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS408	日本近代文学研究(4B)	1	1.5	1-5					森鷗外の〈豊熟の時代〉の明治期に発表された作品を読み、それぞれの作品が、同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているかを考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS409	日本近代文学研究(5A)	1	1.5	1-5					森鷗外の〈豊熟の時代〉の作品のうち、今年度は、特に大正期のものを読み、それぞれの作品の研究の現況について考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS410	日本近代文学研究(5B)	1	1.5	1-5					森鷗外の〈豊熟の時代〉の大正期に発表された作品を読み、それぞれの作品が同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているかについて考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS411	日本近代文学演習(1A)	2	1.5	1-5					各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2016年度より4年おき開講。
02DS412	日本近代文学演習(1B)	2	1.5	1-5					各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2016年度より4年おき開講。
02DS413	日本近代文学演習(2A)	2	1.5	1-5					各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2017年度より4年おき開講。
02DS414	日本近代文学演習(2B)	2	1.5	1-5					各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2017年度より4年おき開講。
02DS415	日本近代文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	人社B418	馬場 美佳	各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2018年度より4年おき開講。
02DS416	日本近代文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社B418	馬場 美佳	各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2018年度より4年おき開講。
02DS417	日本近代文学演習(4A)	2	1.5	1-5					前年度の引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして作品解釈や専攻研究分析などを通じて、論文のテーマや研究方法を明確に示す。	2014年度より4年おき開講。
02DS418	日本近代文学演習(4B)	2	1.5	1-5					前年度の引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして、具体的な論文構想を示し、参加者の意見を乞う。	2014年度より4年おき開講。
02DS419	日本近代文学演習(5A)	2	1.5	1-5					前年度に引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして、作品解釈や先行研究の分析などを通して論文のテーマや研究方法を明確に示す。	2015年度より4年おき開講。
02DS420	日本近代文学演習(5B)	2	1.5	1-5					前年度に引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして、具体的な論文構想を示し、参加者のいけんを乞う。	2015年度より4年おき開講。
02DS430	日本文学特講	1	1.0	1-5						2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
02DS431	日本文学特講(1)		1	1.0	1 - 5				『大鏡』に始まる「鏡物語」、いわゆる歴史物語の系譜を辿ると、その背景や周縁も含めて、『大鏡』を典型とする“対話様式”文芸の多彩な展開が見いだされる。『無名草子』や『宝物集』などは、その目ざましい後継者であり、好例と言ってよい。それらは、空海の『三教指帰』に端を発し、経典とその解釈教化の活動に根ざす宗教テキストの一環として、中世を通じて絶えず生みだされていた知の所産であった。その基盤には、仏教の習学や批判において自らの拠(よりどころ)を支え、正当化しようとする強いうながしや、歴史認識にもとづく危機観によって形成される宗教テキストの伝統が存在した。それは更に、仏教に限らず、神祇をはじめ、和歌、物語、音楽など、当時の文化の諸領域にわたり、それぞれが時代に密接に関わり、かつ訴えようとする強いメッセージ性を帯びている。 この機会に、これまで日本文学として読まれておらず、評価もされていない“対話形式”による宗教テキストを掘り起し、位置付けることを通して、あらためて中世文学における宗教テキストの大きな潮流を探りあてる試みを提示したい。	2017年度より4年おき開講。	
02DS501	イギリス文学史研究(1A)		1	1.5	1 - 5				初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期喜劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2016年度より4年おき開講。	
02DS502	イギリス文学史研究(1B)		1	1.5	1 - 5				初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期喜劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2016年度より4年おき開講。	
02DS503	イギリス文学史研究(2A)		1	1.5	1 - 5				初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期悲劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2017年度より4年おき開講。	
02DS504	イギリス文学史研究(2B)		1	1.5	1 - 5				初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期悲劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2017年度より4年おき開講。	
02DS505	イギリス文学史研究(3A)		1	1.5	1 - 5	春ABC	火5	人社A201	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの初期悲劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS506	イギリス文学史研究(3B)		1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	人社A201	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの初期悲劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS507	イギリス文学史研究(4A)		1	1.5	1 - 5				エリザベス朝の悲劇作品を読む	2014年度より4年おき開講。	
02DS508	イギリス文学史研究(4B)		1	1.5	1 - 5				エリザベス朝悲劇の読解を通して、悲劇性について考察する	2014年度より4年おき開講。	
02DS509	イギリス文学史研究(5A)		1	1.5	1 - 5				初期近代戯曲研究。シェイクスピアの後期悲劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2015年度より4年おき開講。	
02DS510	イギリス文学史研究(5B)		1	1.5	1 - 5				初期近代戯曲研究。シェイクスピアの後期悲劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2015年度より4年おき開講。	
02DS511	イギリス文学史演習(1A)		2	1.5	1 - 5				初期近代英詩研究。17世紀の王党派詩人を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2016年度より4年おき開講。	
02DS512	イギリス文学史演習(1B)		2	1.5	1 - 5				初期近代英詩研究。17世紀の王党派詩人を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2016年度より4年おき開講。	
02DS513	イギリス文学史演習(2A)		2	1.5	1 - 5				初期近代英詩研究。17世紀の形而上派詩人を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2017年度より4年おき開講。	
02DS514	イギリス文学史演習(2B)		2	1.5	1 - 5				初期近代英詩研究。17世紀の形而上派詩人を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2017年度より4年おき開講。	
02DS515	イギリス文学史演習(3A)		2	1.5	1 - 5	春ABC	火1	人社A617	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。16世紀の英詩を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS516	イギリス文学史演習(3B)		2	1.5	1 - 5	秋ABC	火1	人社A617	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。16世紀の英詩を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS517	イギリス文学史演習(4A)		2	1.5	1 - 5				演劇理論に関する論文を読む	2014年度より4年おき開講。	
02DS518	イギリス文学史演習(4B)		2	1.5	1 - 5				最新の英語論文を読む	2014年度より4年おき開講。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS519	イギリス文学史演習(5A)	2	1.5	1-5					初期近代英詩研究。シェイクスピアの長編物語詩を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS520	イギリス文学史演習(5B)	2	1.5	1-5					初期近代英詩研究。シェイクスピアの長編物語詩を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS525	イギリス文学研究(3A)	1	1.5	1-5					初期近代イギリス作品研究。詩歌と戯曲を中心に基礎的読解と議論を行う。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS526	イギリス文学研究(3B)	1	1.5	1-5					初期近代イギリス作品研究。詩歌と戯曲を中心に分析的読解と議論を行う。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS527	イギリス文学研究(4A)	1	1.5	1-5					初期近代戯曲研究。シェイクスピアの祝祭喜劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS528	イギリス文学研究(4B)	1	1.5	1-5					初期近代戯曲研究。シェイクスピアの祝祭喜劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS535	イギリス文学演習(3A)	2	1.5	1-5					論文・研究指導。修士論文および学位論文作成のためのプロシージャー全般の教授と指導を行う。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS536	イギリス文学演習(3B)	2	1.5	1-5					論文・研究指導。受講生の作成した論文を元に、修士論文および学位論文作成のためのプロシージャー全般の教授と指導を行う。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS537	イギリス文学演習(4A)	2	1.5	1-5					初期近代英詩研究。エドモンド・スペンサーの叙情詩を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS538	イギリス文学演習(4B)	2	1.5	1-5					初期近代英詩研究。エドモンド・スペンサーの叙情詩を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS545	イギリス文学特殊研究(3A)	1	1.5	1-5					Through the reading and analysis of modern Canadian novels ("The Game" by Ken Dryden, "Prisoner of Tehran" by Marina Nemat), this course delves into issues related to identity (national/regional/ethnic/gendered) and culture in historical and contemporary Canadian society.	2018年度より4年おき開講。 英語で授業。 2018年度開講せず。
02DS546	イギリス文学特殊研究(3B)	1	1.5	1-5					Through the reading and analysis of modern Canadian novels ("On a Cold Road" by Dave Bidini, "Something Fierce" by Carmen Aguirre), this course delves into issues related to identity (national/regional/ethnic/gendered) and culture in historical and contemporary Canadian society.	2018年度より4年おき開講。 英語で授業。 2018年度開講せず。
02DS601	アメリカ文学史研究(1A)	1	1.5	1-5					ニューディールの文学と文化 カルチュラル・スタディーズの理論と方法に基づき、1930年代大恐慌期アメリカ合衆国の文学と文化について、学際的に論じる。	2016年度より4年おき開講。
02DS602	アメリカ文学史研究(1B)	1	1.5	1-5					民衆/大衆 兩大戦間のアメリカ文化における、大衆表象とそのイデオロギーについて講じる。これを通じ、オルテガ、アドルノ、ベンヤミン、グラムシ、クラカウアー、ホールらの理論を学ぶ。	2016年度より4年おき開講。
02DS603	アメリカ文学史研究(2A)	1	1.5	1-5					「家族」という概念が、ただちにヘテロセクシュアルな核家族を意味することがなく、多様なインティマシーをも含意するようになった21世紀の現在から振り返り、アメリカ文学における家庭の表象について、ジェンダー・セクシュアリティー・婚姻制度の観点から論じる。 カルチュラル・スタディーズ、ジェンダー・スタディーズ、クイア・スタディーズの理論と方法を踏まえ、文学作品のみならず多様な文化テクストの分析に応用する能力を身につける。	2017年度より4年おき開講。
02DS604	アメリカ文学史研究(2B)	1	1.5	1-5					「家族」という概念が、ただちにヘテロセクシュアルな核家族を意味することがなく、多様なインティマシーをも含意するようになった21世紀の現在から振り返り、アメリカ文学における家庭の表象について、母性・育児・家事・教育の観点から論じる。 履修者は、中間評価論文・博士論文の予稿について発表を行い、自らの研究の意義を異なる研究対象をもつ聞き手/読み手に伝える能力、および異なる領域の研究から知見を得る能力を身につける。	2017年度より4年おき開講。
02DS605	アメリカ文学史研究(3A)	1	1.5	1-5					アメリカ文学におけるポストモダニズム 1950年代以降のアメリカ合衆国の文学・文化におけるポストモダニズムを論じる。  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 英語で授業。 2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS606	アメリカ文学史研究(3B)	1	1.5	1 - 5					財と表象 資本主義文化の生成と脱構築のプロセスとしてアメリカ文学を論じる。  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 英語で授業。 2018年度開講せず。
02DS607	アメリカ文学史研究(4A)	1	1.5	1 - 5					ネットワークとしてのアメリカ文学史 この授業では、「ポストナショナル」「ポストエスニック」の視座から、アメリカ合衆国文学史を再検討することを試みる。ポール・ギルロイを始めとする、近年のネットワーク文化論の重要な論考を講読するとともに、これに基づきハーレムル・ネッサンスと「失われた世代」の文学の再検討を試みる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS608	アメリカ文学史研究(4B)	1	1.5	1 - 5					1945年 20世紀アメリカ文学研究のキャノンは、アメリカ本国に先駆けて1945年のパリで醸成されたとも言える。この授業では、1945年に焦点を合わせ、この時期に合衆国の内と外で、どのようにして「アメリカ」が構築されていったかを論じる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS609	アメリカ文学史研究(5A)	1	1.5	1 - 5					アメリカ文学におけるポストモダニズム 第2次世界大戦以降の合衆国文学を、美術、建築、写真、映画、思想などとの相互的な関係に注目しつつ論じる。	2015年度より4年おき開講。
02DS610	アメリカ文学史研究(5B)	1	1.5	1 - 5					財と表象 アメリカ合衆国の文学と文化を、「資本主義の精神」の形成と脱構築のプロセスとして論じる。	2015年度より4年おき開講。
02DS611	アメリカ文学史演習(1A)	2	1.5	1 - 5					1930年代大恐慌期の文学・映画・写真を取り上げ、そこでの民衆表象に注目しつつ分析を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS612	アメリカ文学史演習(1B)	2	1.5	1 - 5					ドキュメンタリーの詩学 1930年代のアメリカにおいて確立された「ドキュメンタリー」という概念を再考しつつ、ドキュメンタリー写真とドキュメンタリー映画の作品分析を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS617	アメリカ文学史演習(4A)	2	1.5	1 - 5					<ネットワークとしてのアメリカ文学> この授業では、20世紀アメリカ文学研究の古典的な研究を、国民文学ではなく、脱国民文学的な観点から再読し、そこから今日的な研究課題を導きだすことを試みる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS618	アメリカ文学史演習(4B)	2	1.5	1 - 5					<1945年> 1945年、パリで戦時中に製作されたアメリカの犯罪映画が一気に上映され、センセーションを巻き起こし、「フィルム・ノワール」と命名される。クロード=エドモンド・マニーを始めとする批評家たちは、合衆国のノワール映画とノワール文学を同時に受容しつつ、今日に至るアメリカ文学研究・アメリカ映画研究の礎を築くことになる。この授業では、フランスでの受容を視野に入れつつ、ノワールの文学・映画を論じる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS619	アメリカ文学史演習(5A)	2	1.5	1 - 5					対抗文化とメタフィクション ジョン・バース、トマス・ピンチオン、カート・ヴォネガット、ドナルド・バーセルミらのメタフィクションを、1960年代対抗文化との関連において論じる。	2015年度より4年おき開講。
02DS620	アメリカ文学史演習(5B)	2	1.5	1 - 5					アメリカ文学における資本主義 アメリカ合衆国文学における「資本主義の精神」の形成と脱構築のプロセスを、ベンジャミン・フランクリン、F・スコット・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイらの作品を通じて分析するとともに、関連する主要な批評文献を取り上げる。	2015年度より4年おき開講。
02DS621	アメリカ文学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					受講生ひとりひとりのテーマに沿って、発表を行う。授業は日本語と英語の両方で行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS622	アメリカ文学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					受講生ひとりひとりのテーマに沿った発表を行う。授業は日本語と英語の両方で行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS623	アメリカ文学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					知識史の基本文献を読む。今年度は、西洋知識史を読む。	授業は日本語と英語の両方で行う。 2017年度より4年おき開講。
02DS624	アメリカ文学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					知識史の基本文献を読む。今年度は、西洋知識史を扱う。	授業は日本語と英語の両方で行う。 2017年度より4年おき開講。
02DS625	アメリカ文学研究(3A)	1	1.5	1 - 5					<知識の枠組み>の基本文献(1)を読む。  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS626	アメリカ文学研究(3B)	1	1.5	1 - 5					<知識の枠組み>の基本文献(2)を読む。  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS627	アメリカ文学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					知識史の基礎文献を読む。 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS628	アメリカ文学研究 (4B)	1	1.5	1 - 5					知識史の基礎文献を読む。 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS629	アメリカ文学研究 (5A)	1	1.5	1 - 5					知識史の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS630	アメリカ文学研究 (5B)	1	1.5	1 - 5					知識史の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS631	アメリカ文学演習 (1A)	2	1.5	1 - 5					Louis Menand, „Metaphysical Club: A Story of Ideas in America_ (2001) を読み、アメリカ思想史の流れをつかむ。授業は日本語と英語の両方で行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS632	アメリカ文学演習 (1B)	2	1.5	1 - 5					Tal Golan, „Laws of Men and Laws of Nature: The History of Scientific Expert Testimony in England and America_ (2004) を読み、"law" がもつ概念をつかむ。授業は日本語と英語の両方で行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS633	アメリカ文学演習 (2A)	2	1.5	1 - 5					南北戦争前アメリカ散文における〈知識の枠組み〉についての基本文献を読み、院生ひとりひとりの専門と関連付けて考えたものを発表する。	授業は日本語と英語の両方で行う。 2017年度より4年おき開講。
02DS634	アメリカ文学演習 (2B)	2	1.5	1 - 5					南北戦争前アメリカ散文における〈知識の枠組み〉についての基本文献を読み、院生ひとりひとりの専門と関連付けて考えたものを発表する。	授業は日本語と英語の両方で行う。 2017年度より4年おき開講。
02DS635	アメリカ文学演習 (3A)	2	1.5	1 - 5					〈知識の枠組み〉の基本文献を読む。 日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS636	アメリカ文学演習 (3B)	2	1.5	1 - 5					〈知識の枠組み〉の基本文献を読む。 日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS637	アメリカ文学演習 (4A)	2	1.5	1 - 5					〈知識の枠組み〉の基礎文献を読む。 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS638	アメリカ文学演習 (4B)	2	1.5	1 - 5					〈知識の枠組み〉の基礎文献を読む 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS639	アメリカ文学演習 (5A)	2	1.5	1 - 5					〈知識の枠組み〉の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS640	アメリカ文学演習 (5B)	2	1.5	1 - 5					〈知識の枠組み〉の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS641	アメリカ文学特殊研究 (1A)	1	1.5	1 - 5					In this seminar, students will study Margaret Atwood's Survival: A Thematic Guide to Canadian Literature (2012). Considered by many to be the essential text on Canadian literary history, Atwood's book explores how CanLit shapes the way that Canadians look at themselves. Throughout the semester, students will be asked to uncover and present the central themes that recur in classic and contemporary Canadian poetry and fiction.	2016年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS642	アメリカ文学特殊研究 (1B)	1	1.5	1 - 5					In this seminar, students will read and study Margaret Atwood's The Handmaid's Tale (1985). Drawing from the actual text, from scholarly writing on the book and on Margaret Atwood's broader collection of work, and from contemporary issues in society, students will be asked to consider how the novel remains relevant to readers today.	2016年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS647	アメリカ文学特殊研究 (4A)	1	1.5	1 - 5					In this seminar, students will become acquainted with a cross section of classic and contemporary Canadian writing. Drawing from a literary anthology selected by the students and instructor, we will discuss themes related to the Canadian national identity, such as the immigrant experience, the land as wilderness, and First Nations' mythology. Some of the writers to be included in this seminar include Michael Ondaatje, Margaret Atwood and W.P. Kinsella.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS648	アメリカ文学特殊研究 (4B)	1	1.5	1 - 5					In this seminar, students will become acquainted with a cross section of classic and contemporary Canadian writing. Drawing from a literary anthology selected by the students and instructor, we will discuss themes related to the Canadian national identity, such as the multicultural mosaic, English and French Canada, and small town life. Some of the writers to be included in this seminar include Yann Martel, Leonard Cohen and Alice Munro.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS649	アメリカ文学特殊研究(5A)	1	1.5	1-5					This seminar surveys key themes in Canadian cultural identity through close reading and context studies of Canadian plays. This semester explores primarily the themes of Canada's "two solitudes" and its colonial past.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS650	アメリカ文学特殊研究(5B)	1	1.5	1-5					This seminar surveys key themes in Canadian cultural identity through close reading and context studies of Canadian plays. This semester explores primarily the themes of First Nations issues in Canada, and ongoing debates surrounding the rights of Indigenous peoples.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS651	アメリカ文学特講I	1	1.0	1-5	春AB	金3	人社A612	宮本 陽一郎	将来の大学教員のための文学教授法。この授業では、20世紀の批評理論の展開を、ペダゴジー(教育方法、教育言説)という観点から俯瞰します。ペダゴジーは、単なる技術論を越えて、1980年代以降の文学理論研究の先端的主題のひとつとして認知されるようになりました。こうした展開を踏まえながら、文学の研究と教育にとって、教室という空間がどれほど豊かな可能性に開かれたものであるかを、この授業では学びます。将来大学における文学の教育に携わろうとする大学院生のために有益であるのみならず、現在の自らの文学研究方法の意義と歴史的位置付けを確認する機会にもなるでしょう。テキストは翻訳のあるものを中心とし、アメリカ文学専攻以外の履修者をとくに歓迎します。	2018年度より4年おき開講。
02DS701	フランス文学史研究(1A)	1	1.5	1-5					フランス文学史を知る上で重要な出来事や芸術運動、思想や哲学、文学作品に関わる知識を身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DS702	フランス文学史研究(1B)	1	1.5	1-5					フランス文学史を知るうえで重要な出来事や芸術運動、思想や哲学、文学作品に関わる知識を身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DS703	フランス文学史研究(2A)	1	1.5	1-5					第1次世界大戦前後のフランスの状況下での小説について考察する。	2017年度より4年おき開講。
02DS704	フランス文学史研究(2B)	1	1.5	1-5					第1次世界大戦前後のフランスの状況下でのユダヤ人問題、スノビズム等について小説をもとに考察する。	2017年度より4年おき開講。
02DS705	フランス文学史研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水1	人社B409	小川 美登里	20世紀以降の文学作品、批評、思想を中心に知識と理解を深める。	2018年度より4年おき開講。
02DS706	フランス文学史研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水1	人社B409	小川 美登里	20世紀以降の文学作品、批評、思想を中心に文学史の知識と理解を深める。	2018年度より4年おき開講。
02DS707	フランス文学史研究(4A)	1	1.5	1-5					フランス文学史のなかで二十世紀後半以降の文学の動向を分析する。	2014年度より4年おき開講。
02DS708	フランス文学史研究(4B)	1	1.5	1-5					フランス文学史において二十世紀後半以降の文学の動向を、思想や文化の流れに沿って理解する。	2014年度より4年おき開講。
02DS709	フランス文学史研究(5A)	1	1.5	1-5					19世紀末から20世紀初頭のフランス文学史を踏まえつつ、ブルーストの作品について考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DS710	フランス文学史研究(5B)	1	1.5	1-5					19世紀末から20世紀初頭のフランス文学史を踏まえつつ、ブルーストの研究文献を読み、考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DS711	フランス文学研究I(1A)	1	1.5	1-5					20世紀以降の文学作品あるいは批評の読解をおとして分析能力を身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DS712	フランス文学研究I(1B)	1	1.5	1-5					20世紀以降の文学作品あるいは批評の読解をおとして分析能力を身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DS713	フランス文学研究I(2A)	1	1.5	1-5					文学と文学を取り巻くさまざまなテーマを、テキストの精読や分析をおして行う。	2017年度より4年おき開講。
02DS714	フランス文学研究I(2B)	1	1.5	1-5					文学と文学を取り巻くさまざまなテーマを、テキストの精読や分析をおして行う。	2017年度より4年おき開講。
02DS715	フランス文学研究I(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水2	人社B409	小川 美登里	20世紀以降のテキストを読解し、批評の方法論やアプローチ、解釈の方法などを具体的に学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS716	フランス文学研究I(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社B409	小川 美登里	おもに20世紀以降のテキストを対象として、批評のアプローチの仕方や理論の構築、解釈の可能性などについて学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS717	フランス文学研究I(4A)	1	1.5	1-5					フランス文学のテキストの原書精読をおして、テキストの分析や批評を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS718	フランス文学研究I(4B)	1	1.5	1-5					フランス文学のテキスト精読をおして、テキストの分析や批評を行う。論文執筆のスキルを身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DS719	フランス文学研究I(5A)	1	1.5	1-5					フランス文学の作品の分析と読解をおしてエクリチュールの特異性について考えるとともに、テキストを生み出した作者や時代、思想、文化などについても考察を深める。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS720	フランス文学研究I (5B)	1	1.5	1 - 5					フランス文学の作品分析と読解をととして、エクリチュールの特異性について考える。また、テキストを扱うにあたってジャンルの問題を考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS721	フランス文学研究I I (1A)	1	1.5	1 - 5					受講生の学位論文執筆に資する文学作品を講読し考察する。研究発表も適宜行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS722	フランス文学研究I I (1B)	1	1.5	1 - 5					受講生の学位論文執筆に資する研究論文を講読し考察する。研究発表も適宜行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS723	フランス文学研究I I (2A)	1	1.5	1 - 5					受講生の学位論文執筆に資する文学作品を講読し考察する。研究発表も適宜行う。	2017年度より4年おき開講。
02DS724	フランス文学研究I I (2B)	1	1.5	1 - 5					受講生の学位論文執筆に資する研究論文を講読し考察する。研究発表も適宜行う。	2017年度より4年おき開講。
02DS725	フランス文学研究I I (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3	人社B410	増尾 弘美	受講者の研究テーマを視野に入れ、テキストを選択して講読する。	2018年度より4年おき開講。
02DS726	フランス文学研究I I (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3	人社B410	増尾 弘美	受講者の研究テーマを視野に入れ、研究文献を分析しつつ読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS727	フランス文学研究 (4A)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究内容に沿って、作品を熟読し考察する。研究発表も適宜行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS728	フランス文学研究I I (4B)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究内容に沿って、研究書を読み考察する。研究発表も適宜行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS729	フランス文学研究I I (5A)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究内容に即して、関連する文学作品を熟読し考察する。研究発表も適宜行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS730	フランス文学研究I I (5B)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究内容に即して、関連する研究文献を読み考察する。研究発表も適宜行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS731	フランス文学特殊研究 (1A)	1	1.5	1 - 5					ブルーストの作品に描かれたドレフュス事件について研究論文を講読し考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DS732	フランス文学特殊研究 (1B)	1	1.5	1 - 5					ブルーストの作品にユダヤ人、同性愛者がどのように描かれているか、研究論文を講読し考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DS733	フランス文学特殊研究 (2A)	1	1.5	1 - 5					フランス文学史において二十世紀以降の文学の動向を、思想や文化の流れに沿って理解する。	2017年度より4年おき開講。
02DS734	フランス文学特殊研究 (2B)	1	1.5	1 - 5					フランス文学史において二十世紀以降の文学の動向を、思想や文化の流れに沿って理解する。	2017年度より4年おき開講。
02DS735	フランス文学特殊研究 (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木4	人社B410	増尾 弘美	ブルーストと音楽(特にワーグナー)について、研究論文を読んで考察する。	2018年度より4年おき開講。
02DS736	フランス文学特殊研究 (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木4	人社B410	増尾 弘美	ブルーストと音楽について、研究論文を読んで考察する。	2018年度より4年おき開講。
02DS737	フランス文学特殊研究 (4A)	1	1.5	1 - 5					ブルースト研究論文を読みつつ、分析方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DS738	フランス文学特殊研究 (4B)	1	1.5	1 - 5					ブルースト研究論文を読みつつ、論文展開の方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DS739	フランス文学特殊研究 (5A)	1	1.5	1 - 5					現代フランス文学作品の精読をととして、テキストを分析する方法論を学ぶ。また、論文の構成や論旨の組み立て、方法的なアプローチについても学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS740	フランス文学特殊研究 (5B)	1	1.5	1 - 5					フランス現代文学作品の精読をととして、テキストを分析する方法を学ぶ。また、文学テキストを分析するにあたって必要となる批評的言語のあり方についても学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS801	ドイツ文学研究I (1A)	1	1.5	1 - 5					受講生の関心に応じてテーマを設定し、関連テキストの分析やその社会的歴史的背景を論じ、論文執筆の指導を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS802	ドイツ文学研究I (1B)	1	1.5	1 - 5					受講生の関心に応じてテーマを設定し、関連テキストの分析やその社会的歴史的背景を論ずる。	2016年度より4年おき開講。
02DS803	ドイツ文学研究I (2A)	1	1.5	1 - 5					受講生の関心に応じてテーマを設定し、関連テキストの分析やその社会的歴史的背景を論じ、論文執筆の指導を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DS804	ドイツ文学研究I (2B)	1	1.5	1 - 5					受講生の関心に応じてテーマを設定し、関連テキストの分析やその社会的歴史的背景を論ずる。	2017年度より4年おき開講。
02DS805	ドイツ文学研究I (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5	人社A705	相澤 啓一	19世紀以降のドイツ語圏における翻訳論を扱うが、必要に応じて参加者のテーマにあわせた授業を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS806	ドイツ文学研究I (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	人社A705	相澤 啓一	1920年代ドイツ文学における政治と文学を扱う。	2018年度より4年おき開講。
02DS807	ドイツ文学研究I (4A)	1	1.5	1 - 5					19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ文学を中心として、文学と社会の相互関係をテーマに議論する。各参加者の研究分野に配慮しながらテキストを選択し、解釈を試みる。	2014年度より4年おき開講。
02DS808	ドイツ文学研究I (4B)	1	1.5	1 - 5					19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ文学を中心として、文学と社会の相互関係をテーマに議論する。各参加者に随時レポートしてもらいながら、テキスト解釈を深める。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS809	ドイツ文学研究I (5A)	1	1.5	1 - 5					日独の文化比較をテーマに、個別のテキストを読んで討論形式で授業を行なう。討論にはドイツ語と日本語の双方を使用する。	2015年度より4年おき開講。
02DS810	ドイツ文学研究I (5B)	1	1.5	1 - 5					ナチズムが台頭する前後の文学状況を具体的テキストに即して検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DS811	ドイツ文学研究II (1A)	1	1.5	1 - 5					Die Humorvolle Lyrik Christian Morgensterns Das Seminar stellt den Humoristen Christian Morgenstern vor und führt in seine Lyrik ein. Es stellt Humorddefinitionen und humoristische Gattungen vor und bietet auch Übungen zur Textanalyse an.	2016年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS812	ドイツ文学研究II (1B)	1	1.5	1 - 5					Übersetzungsprobleme im Werk von Christian Morgenstern Das Seminar stellt einschlägige Übersetzungstheorien kritisch vor und erprobt diese an der humoristischen Lyrik. Es bietet auch Übungen zur Übersetzung an.	2016年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS815	ドイツ文学研究II (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火3	人社 A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Einf	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS816	ドイツ文学研究II (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	人社 A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	オーストリアや中央ヨーロッパにおけるユダヤ人のドイツ文学:ノーベル賞受賞人Elias Canettiの作品	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS817	ドイツ文学研究II (4A)	1	1.5	1 - 5					Rhetorik I: Lektueren (Kleist, Nietzsche, Benjamin, Freud, Sloterdijk)	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS818	ドイツ文学研究II (4B)	1	1.5	1 - 5					Rhetoric (II) and Writing: Abhandlung, Referat, Essay, Literatur	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS819	ドイツ文学研究II (5A)	1	1.5	1 - 5					Einführung in die politische und philosophische Begriffsbildung deutscher Ethik-Traditionen. Kritische Betrachtung der deutschen Literatur, Philosophie und Kultur des 20. Jahrhunderts und ihrer historischen Voraussetzungen.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS820	ドイツ文学研究II (5B)	1	1.5	1 - 5					Politische und philosophische Begriffsbildung deutscher Ethik-Traditionen mit Schwerpunkt Literatur und Essayistik in der zweiten Hälfte des 20. Jahrhunderts. Kritische Betrachtung der Bürgerbewegungen und ihres Niederschlags in der deutschsprachigen Literatur.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS821	ドイツ文学演習 (1A)	2	1.5	1 - 5					日独両言語での読解力、発信力を高めることを目的に、両言語の学術テキストの翻訳演習を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DS822	ドイツ文学演習 (1B)	2	1.5	1 - 5					日独両言語での読解力、発信力を高めることを目的に、両言語による人文・社会系の多様な学術テキストを扱う。	2016年度より4年おき開講。
02DS823	ドイツ文学演習 (2A)	2	1.5	1 - 5					日独両言語での読解力、発信力を高めることを目的に、両言語による人文・社会系の多様な学術テキストを扱う。特に独→日方向の理解に比重を置く。	2017年度より4年おき開講。
02DS824	ドイツ文学演習 (2B)	2	1.5	1 - 5					日独両言語での読解力、発信力を高めることを目的に、両言語による人文・社会系の多様な学術テキストを扱う。特に日→独方向の理解に比重を置く。	2017年度より4年おき開講。
02DS825	ドイツ文学演習 (3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	月4	人社 A207	相澤 啓一	ドイツ語文献の速読を訓練し、日本語への翻訳を検討する	2018年度より4年おき開講。
02DS826	ドイツ文学演習 (3B)	2	1.5	1 - 5	春ABC	月5	人社 A207	相澤 啓一	ドイツ語での研究成果の発信の訓練、また日本語からドイツ語の翻訳の訓練を行う	2018年度より4年おき開講。
02DS827	ドイツ文学演習 (4A)	2	1.5	1 - 5					ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、翻訳訓練を行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DS828	ドイツ文学演習 (4B)	2	1.5	1 - 5					ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、翻訳訓練を行う。独日のテキスト読解に加えて日独のテキスト生産訓練もあわせて訓練する。	2014年度より4年おき開講。
02DS829	ドイツ文学演習 (5A)	2	1.5	1 - 5					ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、日→独の翻訳訓練を行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DS830	ドイツ文学演習 (5B)	2	1.5	1 - 5					ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、独日の翻訳訓練を行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DS831	ドイツ文学特講 (1A)	1	1.5	1 - 5					Einführung in Applied Humanities: Das Seminar antwortet auf die weltweite Krise der Human- und Sozialwissenschaften, diskutiert alternative Neuansätze und erörtert, wie eine Deutsche Literatur- und Kulturwissenschaft im 21. Jahrhundert aussehen kann.	2016年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS832	ドイツ文学特講(1B)	1	1.5	1-5					Applied Humanities – Methodologie, Theorie, Forschung, Kurrikulum Einführung in eine innovative Deutsche Literatur- und Kulturwissenschaft im 21. Jahrhundert mit Übungen zu Theorie, Methodologie, Forschungsperspektiven und Lehrplangestaltung.	2016年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS835	ドイツ文学特講(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	The European Refugee Crisis in Literature (Focusing Literary Aspects)	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS836	ドイツ文学特講(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	The European Refugee Crisis and Literature (Focusing Philosophical Aspects)	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS837	ドイツ文学特講(4A)	1	1.5	1-5					Narrative Prosa des 19. Jahrhunderts: C.F. Meyer und Adalbert Stifter	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS838	ドイツ文学特講(4B)	1	1.5	1-5					Das deutsche Drama in Aufklärung und Klassik (Lessing, Goethe, Schiller, Kleist)	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS839	ドイツ文学特講(5A)	1	1.5	1-5					Einführung in das Werk Peter Sloterdijks unter besonderer Berücksichtigung von „Du mußt dein Leben ändern“. Schwerpunkt des Seminars ist die Verortung von Sloterdijks Denkansätzen in diesem Essay in der deutschsprachigen Gesellschaft.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS840	ドイツ文学特講(5B)	1	1.5	1-5					Einschätzung des Werks von Peter Sloterdijk unter besonderer Berücksichtigung des europäisch-asiatischen Austausches auf philosophischer, ethischer und kultureller Ebene.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS901	中国文学史研究(1A)	1	1.5	1-5					孫康宜『『古典文学の現代観』(上海訳文出版社2013)を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS902	中国文学史研究(1B)	1	1.5	1-5					孫康宜『文学的声音』(三民書局2001年)を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS903	中国文学史研究(2A)	1	1.5	1-5					田曉菲『塵机録:陶淵明与手抄本文化研究』(中華書局2007)を第二章まで読む。	2017年度より4年おき開講。
02DS904	中国文学史研究(2B)	1	1.5	1-5					田曉菲『塵机録:陶淵明与手抄本文化研究』(中華書局2007)を第三章から第五章まで読む。	2017年度より4年おき開講。
02DS905	中国文学史研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A620	小松 建男	『世説新語』を読む	2018年度より4年おき開講。
02DS906	中国文学史研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社A620	小松 建男	『世説新語』を後世の批評を参考にしながら読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS907	中国文学史研究(4A)	1	1.5	1-5					唐詩を、詩話・明清の注釈を参考にしながら読む。テキストは、陳増傑『唐人律詩箋注集評』(浙江古籍出版社2003)	2014年度より4年おき開講。
02DS908	中国文学史研究(4B)	1	1.5	1-5					杜詩を、詩話・明清の注釈を参考にしながら読む。テキストは、陳増傑『唐人律詩箋注集評』(浙江古籍出版社2003)	2014年度より4年おき開講。
02DS909	中国文学史研究(5A)	1	1.5	1-5					円仁『入唐求法巡礼行記』から揚州上陸前後の日記を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS910	中国文学史研究(5B)	1	1.5	1-5					円仁『入唐求法巡礼行記』の揚州出発以後の記録を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS911	中国文学史演習(1A)	2	1.5	1-5					伝奇小説精読1 李娃伝を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS912	中国文学史演習(1B)	2	1.5	1-5					伝奇小説精読2 霍小玉伝を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS913	中国文学史演習(2A)	2	1.5	1-5					杜甫の詩を森槐南『杜詩講義』を参考にしながら読む。	2017年度より4年おき開講。 01B4546と同一。
02DS914	中国文学史演習(2B)	2	1.5	1-5					杜甫の詩を諸注釈を参照しながら読む。	2017年度より4年おき開講。 01B4547と同一。
02DS915	中国文学史演習(3A)	2	1.5	1-5					『史記』を三家注を参考にしながら読む。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS916	中国文学史演習(3B)	2	1.5	1-5					『史記』を評林を参考にしながら読む。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS917	中国文学史演習(4A)	2	1.5	1-5					先秦から六朝にかけての散文を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS918	中国文学史演習(4B)	2	1.5	1-5					唐・宋の散文を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS919	中国文学史演習(5A)	2	1.5	1-5					『唐詩選』と『唐詩三百首』を比較し、日中における唐詩受容の違いについて考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS920	中国文学史演習(5B)	2	1.5	1-5					明清の唐詩選集についての比較研究。	2015年度より4年おき開講。
02DS921	中国文学研究(1A)	1	1.5	1-5					「雑体詩」序を集注で読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS922	中国文学研究(1B)	1	1.5	1-5					「雑体詩」序の意義を考える。	2016年度より4年おき開講。
02DS923	中国文学研究(2A)	1	1.5	1-5					「謝僕射(遊覧)混」(~嶺韻)を読む。	2017年度より4年おき開講。
02DS924	中国文学研究(2B)	1	1.5	1-5					「謝僕射(遊覧)混」(景韻)を読む。	2017年度より4年おき開講。
02DS925	中国文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A620	稀代 麻也子	「序」を読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS926	中国文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A620	稀代 麻也子	「李都尉(従軍)陵」を読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS927	中国文学研究(4A)	1	1.5	1-5					「許微君(自序)詢」(~嶺韻)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS928	中国文学研究(4B)	1	1.5	1-5					「許微君(自序)詢」(~嶺韻)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS929	中国文学研究(5A)	1	1.5	1-5					「殷東陽(興囑)仲文」(~嶺韻)を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS930	中国文学研究(5B)	1	1.5	1-5					「殷東陽(興囑)仲文」(~嶺韻)を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS931	中国文学演習(1A)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻35「愁」の詩を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS932	中国文学演習(1B)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻35「愁」の賦を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DS933	中国文学演習(2A)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻36「隱逸」に引かれる詩のうち、魏の阮瑀の作から読む。	2017年度より4年おき開講。 01B4536と同一。
02DS934	中国文学演習(2B)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻36「隱逸」に引かれる詩のうち、梁の劉孝標の作から読む。	2017年度より4年おき開講。 01B4537と同一。
02DS935	中国文学演習(3A)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻三十四人部十八の哀傷に引かれている詩を読む。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS936	中国文学演習(3B)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻三十四人部十八の哀傷に引かれている賦を読む。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DS937	中国文学演習(4A)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻56(~「世説」)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS938	中国文学演習(4B)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻56(~齊石道憲「離合詩」)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS939	中国文学演習(5A)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻56(~蕭綸「迴文詩」)を読む。	図書館Dで授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS940	中国文学演習(5B)	2	1.5	1-5					『芸文類聚』巻56(~王融「代稿砧詩」)を読む。	図書館Dで授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS941	中国文学特講(1A)	1	1.5	1-5					受講者各人が、自らの研究対象について、先行研究を整理し、今後何を解明してゆけばよいのかを受講者各人が探求する。	2016年度より4年おき開講。
02DS942	中国文学特講(1B)	1	1.5	1-5					受講者各人が、中国文学特講(1A)において提示した課題について、報告を行い全員で検討をおこなう。	2016年度より4年おき開講。
02DS943	中国文学特講(2A)	1	1.5	1-5					各受講者が、先行研究との関連性を明確にしつつ自分の研究方法について簡潔にまとめ、今後の展望を提示する。提示に基づき、受講者全員で討論する。	2017年度より4年おき開講。
02DS944	中国文学特講(2B)	1	1.5	1-5					各受講者が、学界の最新の動向に対する見解を簡潔にまとめ、自分の最新の研究について報告する。報告に基づき、受講者全員で討論する。	2017年度より4年おき開講。
02DS945	中国文学特講(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木6	人社A620	小松 建男, 稀代 麻也子	口頭発表における説得の技術を身につけ、学会発表に向けた準備を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS946	中国文学特講(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社A620	小松 建男, 稀代 麻也子	資料に基づく報告と討議を通して、論文執筆のための文章力を向上させ学会誌投稿の準備をする。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS947	中国文学特講(4A)		1	1.5	1 - 5				先行研究に対する批評を軸に、博士論文の方向性を考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS948	中国文学特講(4B)		1	1.5	1 - 5				博士論文全体の構成について検討を重ねる。	2014年度より4年おき開講。
02DS949	中国文学特講(5A)		1	1.5	1 - 5				先行研究についての徹底した調査をもとに、現在解決すべき問題を受講者各人が探求する。	2015年度より4年おき開講。
02DS950	中国文学特講(5B)		1	1.5	1 - 5				各受講者が、博士論文において取り上げるべき課題を提示し全員で検討をおこなう。	2015年度より4年おき開講。

専門科目(言語学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT101	一般言語学研究(1A)		1	1.5	1 - 5				指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づけることを目指す。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2016年度より4年おき開講。
02DT102	一般言語学研究(1B)		1	1.5	1 - 5				指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げることを目指す。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2016年度より4年おき開講。
02DT103	一般言語学研究(2A)		1	1.5	1 - 5				指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づけることを目指す。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2017年度より4年おき開講。
02DT104	一般言語学研究(2B)		1	1.5	1 - 5				指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げることを目指す。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2017年度より4年おき開講。
02DT105	一般言語学研究(3A)		1	1.5	1 - 5	春ABC	随時	池田潤, 臼山利信, 池田晋	指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づける。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2018年度より4年おき開講。
02DT106	一般言語学研究(3B)		1	1.5	1 - 5	秋ABC	随時	池田潤, 臼山利信, 池田晋	指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げる。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2018年度より4年おき開講。
02DT107	一般言語学研究(4A)		1	1.5	1 - 5				指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づける。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT108	一般言語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げる。Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2014年度より4年おき開講。
02DT109	一般言語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づけることを目指す。Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2015年度より4年おき開講。
02DT110	一般言語学研究(5B)	1	1.5	1 - 5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げることを目指す。Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2015年度より4年おき開講。
02DT111	一般言語学演習(1A)	2	1.5	1 - 5					受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2016年度より4年おき開講。
02DT112	一般言語学演習(1B)	2	1.5	1 - 5					一般言語学に関する論文の講読を継続する。We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2016年度より4年おき開講。
02DT113	一般言語学演習(2A)	2	1.5	1 - 5					受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2017年度より4年おき開講。
02DT114	一般言語学演習(2B)	2	1.5	1 - 5					一般言語学に関する論文の講読を継続する。We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2017年度より4年おき開講。
02DT115	一般言語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5	人社A517	池田 潤	受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2018年度より4年おき開講。
02DT116	一般言語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5	人社A517	池田 潤	一般言語学に関する論文の講読を継続する。We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2018年度より4年おき開講。
02DT117	一般言語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					一般言語学に関する論文を演習形式で講読する。We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2014年度より4年おき開講。
02DT118	一般言語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					一般言語学に関する論文の講読を継続する。We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2014年度より4年おき開講。
02DT119	一般言語学演習(5A)	2	1.5	1 - 5					受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2015年度より4年おき開講。
02DT120	一般言語学演習(5B)	2	1.5	1 - 5					一般言語学に関する論文の講読を継続する。We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2015年度より4年おき開講。
02DT121	一般言語学特講A(1A)	1	1.5	1 - 5					現代ロシア語の諸相を言語形式と機能という観点から洞察する作業を通して、ロシア語の言語学的特徴に関する理解を深める。またロシア語を研究することによって一般言語学的な問題意識を高める契機とする。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT122	一般言語学特講A (1B)	1	1.5	1 - 5					多民族・多言語地域である旧ソ連諸国を対象して、ソ連崩壊後の言語状況の変化を言語政策の視点から検討・考察する。特にロシア連邦以外の地域については、国家語である基幹民族語の地位や役割などの変化に注目する。	2016年度より4年おき開講。
02DT123	一般言語学特講A (2A)	1	1.5	1 - 5					多民族国家ロシアの言語状況・言語政策などについて、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2017年度より4年おき開講。
02DT124	一般言語学特講A (2B)	1	1.5	1 - 5					多民族国家ロシアの言語状況・言語政策などについて、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2017年度より4年おき開講。
02DT125	一般言語学特講A (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水2	人社A207	臼山 利信	現代ロシア語の諸相を言語形式と機能という観点から洞察する作業を通して、ロシア語の言語的特徴を深く理解していく足掛かりをつくる。また同時に一般言語学的な問題意識を高める一つの契機とする。	2018年度より4年おき開講。
02DT126	一般言語学特講A (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水2	人社A207	臼山 利信	ポスト・ソヴィエト時代の旧ソ連地域のロシア語圏諸国における言語状況と言語政策について、国内外の新しい優れた研究成果に基づいて検討する。	2018年度より4年おき開講。
02DT127	一般言語学特講A (4A)	1	1.5	1 - 5					ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2014年度より4年おき開講。
02DT128	一般言語学特講A (4B)	1	1.5	1 - 5					ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2014年度より4年おき開講。
02DT129	一般言語学特講A (5A)	1	1.5	1 - 5					ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2015年度より4年おき開講。
02DT130	一般言語学特講A (5B)	1	1.5	1 - 5					ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2015年度より4年おき開講。
02DT131	一般言語学特講B (1A)	1	1.5	1 - 5					語彙コーパス、語彙運用、慣用などの層位から言語と文化の関わりを考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DT132	一般言語学特講B (1B)	1	1.5	1 - 5					語彙コーパス、語彙運用、慣用などの層位から言語と文化の関わりを考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DT133	一般言語学特講B (2A)	1	1.5	1 - 5					韓・日両言語における文構造を対照する。意味が多重に解釈できる文の構造を中心とする。	2017年度より4年おき開講。
02DT134	一般言語学特講B (2B)	1	1.5	1 - 5					韓・日両言語における文構造を対照する。倒置・省略文の構造を中心とする。	2017年度より4年おき開講。
02DT135	一般言語学特講B (3A)	1	1.5	1 - 5					現代韓国語の文法概論を検討しながら、時制・指示・授受・慣用表現・あいさつことばなどの表現から見られる「視点」を考察する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT136	一般言語学特講B (3B)	1	1.5	1 - 5					韓国語と日本語における「視点」の相違を、具体的な例を通して対照しながら、言語表現と視点の関わりを調べる。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT137	一般言語学特講B (4A)	1	1.5	1 - 5					韓国語における音韻、形態、語彙表現、統語の特徴を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT138	一般言語学特講B (4B)	1	1.5	1 - 5					思考観点が反映された表現様相を、韓国語を対象とし、調査する。	2014年度より4年おき開講。
02DT139	一般言語学特講B (5A)	1	1.5	1 - 5					音韻、形態構造、語彙、文法、表現、統辞、文章・論理構造などの考察を通して、言語の構造と規則について学ぶ。広告言語を対象とし、広告の言語使用の多様性と非文の許容性などを調査・分析して、更に言語体系の理解を深める。	2015年度より4年おき開講。
02DT140	一般言語学特講B (5B)	1	1.5	1 - 5					音韻、形態構造、語彙、文法、表現、統辞、文章・論理構造などの考察を通して、言語の構造と規則について学ぶ。広告言語を対象とし、広告の言語使用の多様性と非文の許容性などを調査・分析して、更に言語体系の理解を深める。	2015年度より4年おき開講。
02DT147	実験音声学研究 (4A)	1	1.5	1 - 5					4月16日以降に開講する。 音声および文字に関する課題	2014年度より4年おき開講。
02DT148	実験音声学研究 (4B)	1	1.5	1 - 5					P600成分を主眼とした文法課題について、追験や新たな課題の検証を行っていく。	2014年度より4年おき開講。
02DT155	中国語文法研究 (3A)	1	1.5	1 - 5					歴史語法研究に関する応用力を身につけ、自らの力で問題を見だし、解決に向けてアプロ	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT156	中国語文法研究 (3B)	1	1.5	1 - 5					近世漢語に関する文献を読み、研究動向とその成果を学ぶ。受講生には歴史語法研究に関する知識が予め求められる。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT157	中国語文法研究(4A)	1	1.5	1 - 5					歴史語法研究に関する基礎力を身につけ、自らの力で問題を見だし、解決に向けてアプローチする方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT158	中国語文法研究(4B)	1	1.5	1 - 5					歴史語法研究に関して、自らの力で問題を見だし、解決に向けてアプローチする方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT159	中国語文法研究(5A)	1	1.5	1 - 5					歴史語法研究に関して、自らの力で問題点を見だし、解決する力を養う。	受講に当たっては中国古典学の基礎知識と歴史語法研究の専門知識が予め必要である。 2015年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT160	中国語文法研究(5B)	1	1.5	1 - 5					歴史語法研究に関して、問題点を自ら解決しそれを文章にまとめる力を養う。	受講に当たっては中国古典学の基礎知識と歴史語法研究の専門知識が予め必要である。 2015年度より4年おき開講。
02DT161	中国語史料研究(1A)	1	1.5	1 - 5						2016年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT162	中国語史料研究(1B)	1	1.5	1 - 5						2016年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT165	中国語史料研究(3A)	1	1.5	1 - 5					現代中国語の形成を考えるうえで様々な問題が観察できる『京話日報』『新青年』という清末民末の史料を中心に、中国語の語彙法を通時的観点から、日中語彙交流の視点から考究する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT166	中国語史料研究(3B)	1	1.5	1 - 5					周辺資料も並用し、中国語の語彙法を通時的観点から、日中語彙交流の視点から考究する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT167	中国語史料研究(4A)	1	1.5	1 - 5						2014年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT168	中国語史料研究(4B)	1	1.5	1 - 5						2014年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT169	中国語史料研究(5A)	1	1.5	1 - 5						2015年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT170	中国語史料研究(5B)	1	1.5	1 - 5						2015年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT171	中国語学演習(1A)	2	1.5	1 - 5					中国語の文法化をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2016年度より4年おき開講。
02DT172	中国語学演習(1B)	2	1.5	1 - 5					中国語の品詞論、とくに名動包含モデルに関する最新の文献を読み、理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2016年度より4年おき開講。
02DT173	中国語学演習(2A)	2	1.5	1 - 5					中国語の情報構造をテーマとして、関連する文献を読み、基礎的な概念について理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2017年度より4年おき開講。
02DT174	中国語学演習(2B)	2	1.5	1 - 5					中国語の情報構造をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2017年度より4年おき開講。
02DT175	中国語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	水2	人社B510	池田 晋	中国語の連体修飾節をテーマとして、基礎文献を体系的に読み進め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2018年度より4年おき開講。
02DT176	中国語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	水2	人社B510	池田 晋	中国語の連体修飾節をテーマとして、最新の研究文献を読み進め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2018年度より4年おき開講。
02DT177	中国語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					中国語の名詞修飾節をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DT178	中国語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					中国語のモダリティをテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DT179	中国語学演習(5A)	2	1.5	1 - 5					中国語の「指称性」をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2015年度より4年おき開講。
02DT180	中国語学演習(5B)	2	1.5	1 - 5					中国語の複文をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT201	応用言語学基礎論A	1	1.5	1 - 5	春ABC	水5, 6	人社A201	一二三 朋子, 澤田浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛	応用言語学において基盤となるもの見方や考え方などを、講義を通して深めていく。	
02DT202	応用言語学基礎論B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	随時		一二三 朋子, 澤田浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛	応用言語学において基盤となるもの見方や考え方などを、講義を通して深めていく。	
02DT203	応用言語学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare an experiment measuring reaction times.	2016年度より4年おき開講。
02DT204	応用言語学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester, analyze and discuss the results, and propose follow-up experiments.	2016年度より4年おき開講。
02DT205	応用言語学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare an experiment measuring reaction times. 授業は2G301で行う	2017年度より4年おき開講。
02DT206	応用言語学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester, analyze and discuss the results, and propose follow-up experiments.	2017年度より4年おき開講。
02DT207	応用言語学研究(3A)	1	1.5	1 - 5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare a hypothesis-testing experiment.  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT208	応用言語学研究(3B)	1	1.5	1 - 5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to run a hypothesis-testing experiment.  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT209	応用言語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					Students will discuss recent developments in psycholinguistics and propose new experiments to expand currently available results.	2014年度より4年おき開講。
02DT210	応用言語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester. They will collect data, analyze it and redesign the experiment if necessary.	2014年度より4年おき開講。
02DT211	応用言語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare an experiment measuring reaction times.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT212	応用言語学研究(5B)	1	1.5	1 - 5					Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester, analyze and discuss the results, and propose follow-up experiments.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT217	応用言語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5					日本語母語話者の談話理解と談話産出をつかさどる文法的な要因について、基本的な文献を読みながら考察する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT218	応用言語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5					日本語母語話者や日本語学習者の会話データを収集し、分析する。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT219	応用言語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					日本語母語話者の談話理解と談話産出をつかさどる文法的な要因について、基本的な文献を読みながら考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT220	応用言語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					日本語母語話者や日本語学習者の会話データを収集し、分析する。	2014年度より4年おき開講。
02DT223	応用言語学論文演習(1A)	2	1.5	1 - 5					This seminar will address the treatment of phraseology in learners' dictionaries. Topics for reading and discussion will include the role of corpus linguistics in learner lexicography, the relation between corpus linguistics and lexical theory, and user-related research.	2016年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語と英語使用。
02DT224	応用言語学論文演習(1B)	2	1.5	1 - 5					This seminar will address the treatment of phraseology in learners' dictionaries. Students will be required to conduct an independent research project, with an eye towards the development of a lexicographic resource that adequately reflects the usage of phraseological units and meets the needs of JFL/JSL learners.	2016年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(1A)」を受講していることが望ましい。日本語と英語使用。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT225	応用言語学論文演習 (2A)	2	1.5	1 - 5					This seminar will address the role of formulaic sequences in language acquisition and use. The aim is for students to gain an understanding of current issues and methodologies in this area, as well as an understanding of how research in this area has developed over time.	2017年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語の論文を扱う場合は発表とディスカッションの使用言語は日本語とする。
02DT226	応用言語学論文演習 (2B)	2	1.5	1 - 5					This seminar will address the role of formulaic sequences in language acquisition and use. Students will be required to conduct an independent research project on a course-related topic of their choice.	2017年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(2A)」を受講していることが望ましい。研究プロジェクトの使用言語は英語または日本語とする。
02DT227	応用言語学論文演習 (3A)	2	1.5	1 - 5					This seminar will discuss the role of phraseology in foreign language learning and teaching, with particular focus on the problems of extraction and description.  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 英語で授業。 2018年度開講せず。
02DT228	応用言語学論文演習 (3B)	2	1.5	1 - 5					This seminar will discuss methodologies for research on phraseology in foreign language learning and teaching. Students will also conduct an independent research project.  日本語と英語使用	2018年度より4年おき開講。 英語で授業。 2018年度開講せず。
02DT229	応用言語学論文演習 (4A)	2	1.5	1 - 5					This is a seminar on lexical semantics. Topics for readings and discussion will include theoretical perspectives on word meaning, polysemy and other semantic relations, the types of meanings associated with different word classes, and the boundaries of lexical semantics.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語と英語使用。
02DT230	応用言語学論文演習 (4B)	2	1.5	1 - 5					This seminar will discuss methodologies for researching and analyzing vocabulary, with particular emphasis on the analysis of multi-word units. Students will be required to conduct an independent research project.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(4A)」を受講していることが望ましい。日本語と英語使用。
02DT231	応用言語学論文演習 (5A)	2	1.5	1 - 5					This seminar will discuss the role of collocation in language theory, as well as recent trends in Japanese and English collocation research.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語と英語使用。
02DT232	応用言語学論文演習 (5B)	2	1.5	1 - 5					This seminar will focus on methodologies for collocation research, with emphasis on applications in lexicography and language education. Students will be required to conduct an independent research project.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(5A)」を受講していることが望ましい。日本語と英語使用。
02DT233	日本語教育学研究 (1A)	1	1.5	1 - 5					日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2016年度より4年おき開講。
02DT234	日本語教育学研究 (1B)	1	1.5	1 - 5					日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2016年度より4年おき開講。
02DT235	日本語教育学研究 (2A)	1	1.5	1 - 5					日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2017年度より4年おき開講。
02DT236	日本語教育学研究 (2B)	1	1.5	1 - 5					日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2017年度より4年おき開講。
02DT237	日本語教育学研究 (3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	金4	人社 A202	松崎 寛	日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2018年度より4年おき開講。
02DT238	日本語教育学研究 (3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金4	人社 A202	松崎 寛	日本語教育における音声教育方法の改善に役立つ研究論文を取り上げ、検討する。	2018年度より4年おき開講。
02DT239	日本語教育学研究 (4A)	1	1.5	1 - 5					日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DT240	日本語教育学研究 (4B)	1	1.5	1 - 5					日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT241	日本語教育学研究(5A)	1	1.5	1-5					日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2015年度より4年おき開講。
02DT242	日本語教育学研究(5B)	1	1.5	1-5					日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DT243	日本語教育学演習(1A)	2	1.5	1-5					日本語教育に関する論文で統計的手法を使った論文を中心に講読し、各自の研究に活かせるかを考える。	2016年度より4年おき開講。
02DT244	日本語教育学演習(1B)	2	1.5	1-5					各自の調査に基づき、実践的な統計処理の実習を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DT245	日本語教育学演習(2A)	2	1.5	1-5					統計を使った日本語教育の論文を精読し、論文内の統計用語の知識を習得する。	演習形式。 2017年度より4年おき開講。
02DT246	日本語教育学演習(2B)	2	1.5	1-5					春学期に学んだ統計を実践的に身につけるために、実際に調査を行い、統計ソフトを使った分析の実習を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DT247	日本語教育学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A201	一二三 朋子	日本語教育の論文の中で統計的手法を使ったものを講読し、客観的な研究のあり方について学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DT248	日本語教育学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋AB	応談	人社A201	一二三 朋子	日本語教育研究の中のさまざまなテーマについて客観的な書き方を考える。初回金3人社A201へ集合してください。	2018年度より4年おき開講。
02DT249	日本語教育学演習(4A)	2	1.5	1-5					大量のデータを分析する際に必要な統計について概説し、統計を使った論文講読や、統計を使った研究計画について検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DT250	日本語教育学演習(4B)	2	1.5	1-5					受講者の論文テーマに沿って、研究方法や分析方法について討論し、統計の利用の仕方を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DT251	日本語教育学演習(5A)	2	1.5	1-5					日本語教育に関する論文の中で、心理学的なものを扱った論文を読み、自身の研究に取り入れる可能性について考える。	2015年度より4年おき開講。
02DT252	日本語教育学演習(5B)	2	1.5	1-5					心理学的な手法を実際に取り入れて実習を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT253	日本語構造論研究(1A)	1	1.5	1-5					記述的研究の立場から現代日本語の動詞のとり格の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2016年度より4年おき開講。
02DT254	日本語構造論研究(1B)	1	1.5	1-5					コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の格、動詞等の分析を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DT255	日本語構造論研究(2A)	1	1.5	1-5					記述的研究の立場から現代日本語の動詞の構文の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2017年度より4年おき開講。
02DT256	日本語構造論研究(2B)	1	1.5	1-5					コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の文法の分析を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DT257	日本語構造論研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金2	人社A620	杉本 武	記述的研究の立場から現代日本語の格等の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2018年度より4年おき開講。
02DT258	日本語構造論研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金2	人社A620	杉本 武	コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語のヴォイス等の分析を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT259	日本語構造論研究(4A)	1	1.5	1-5					記述的研究の立場から現代日本語の格と動詞の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2014年度より4年おき開講。
02DT260	日本語構造論研究(4B)	1	1.5	1-5					コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の格、動詞等の分析を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT261	日本語構造論研究(5A)	1	1.5	1-5					記述的研究の立場から現代日本語の形容詞のとり格の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2015年度より4年おき開講。
02DT262	日本語構造論研究(5B)	1	1.5	1-5					コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の格、形容詞等の分析を行う。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT263	日本語構造論演習(1A)	2	1.5	1 - 5					現代日本文法の諸現象のうち、事態の程度を見積もる表現に関する現象を取り上げて考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2016年度より4年おき開講。
02DT264	日本語構造論演習(1B)	2	1.5	1 - 5					現代日本語における事態の程度を見積もる種々の表現を取り上げ、受講者の発表とそれに対する討論を通し、主に文法の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2016年度より4年おき開講。
02DT265	日本語構造論演習(2A)	2	1.5	1 - 5					現代日本文法の諸現象のうち、「とりたて」に関する現象を取り上げて考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2017年度より4年おき開講。
02DT266	日本語構造論演習(2B)	2	1.5	1 - 5					現代日本語における「とりたて」に関わる種々の表現を取り上げ、受講者の発表とそれに対する討論を通し、主に文法の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2017年度より4年おき開講。
02DT267	日本語構造論演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5	人社A205	沼田 善子	現代日本語文法の主観性に関する諸現象について考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2018年度より4年おき開講。
02DT268	日本語構造論演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5	人社A205	沼田 善子	現代日本語の主観性に関する諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通し考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2018年度より4年おき開講。
02DT269	日本語構造論演習(4A)	2	1.5	1 - 5					現代日本語文法の諸現象について、「主観性」の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2014年度より4年おき開講。
02DT270	日本語構造論演習(4B)	2	1.5	1 - 5					現代日本語の「とりたて」等に関わる諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通し、言語主観性の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2014年度より4年おき開講。
02DT271	日本語構造論演習(5A)	2	1.5	1 - 5					副詞、人称、呼称に関わる問題を中心に、言語主観性に関する現代日本語文法の諸現象について、主要論文を購読した後、受講者の発表とそれに対する討論を通し、考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2015年度より4年おき開講。
02DT272	日本語構造論演習(5B)	2	1.5	1 - 5					現代日本語文法の副詞、人称、呼称に関わる諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通し、「主観性」の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2015年度より4年おき開講。
02DT273	対照言語学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DT274	対照言語学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発話行為について考察を行う。	2016年度より4年おき開講。
02DT275	対照言語学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DT276	対照言語学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発話行為について考察を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DT277	対照言語学研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5	人社A207	澤田 浩子	文法・談話の両領域に関する現象を対象に、言語行動、発話行為についてデータの分析を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT278	対照言語学研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	人社A207	澤田 浩子	文法・談話の両領域に関する現象を対象に、言語行動、発話行為について考察を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT279	対照言語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT280	対照言語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発話行為について考察を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT281	対照言語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象、とくに名詞と連体修飾の関係に着目して、言語の記述・分析を行う。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT282	対照言語学研究(5B)	1	1.5	1-5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象、とくに連用修飾と連体修飾の関係に着目して、言語の記述・分析を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT283	対照言語学演習(1A)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照の方法論を学ぶ。特、生成文法の観点から統語・形態現象について考える。	2016年度より4年おき開講。
02DT284	対照言語学演習(1B)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。特に述語の意味と統語構造の関係に関する問題を扱う予定である。	2016年度より4年おき開講。
02DT285	対照言語学演習(2A)	2	1.5	1-5					形態論・統語論の言語間比較・対照のための方法論を学ぶ。	2017年度より4年おき開講。
02DT286	対照言語学演習(2B)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DT287	対照言語学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	人社A205	竹沢 幸一	統語論に基づく言語間の比較・対照の方法論を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DT288	対照言語学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	人社A205	竹沢 幸一	日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT289	対照言語学演習(4A)	2	1.5	1-5					統語論に基づく言語間の比較・対照の方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DT290	対照言語学演習(4B)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT291	対照言語学演習(5A)	2	1.5	1-5					統語論の言語間比較・対照のための方法論を学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DT292	対照言語学演習(5B)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT300	意味論特講(4)	1	1.5	1-5						10月4日から開始 2014年度より4年おき開講。
02DT301	応用言語学特講I	1	2.0	1-5					話し言葉と書き言葉、ジャンルによる文体の違い、最近の言葉の変化など、現代日本語の共時的・通時的なバリエーションについて考える。	2015年度より4年おき開講。
02DT401	日本語音韻研究(1A)	1	1.5	1-5					音声・音韻研究の重要なプロセスである音声資料収集の方法を身につける。臨地調査の手法と技法について座学的知識を身につけるとともに、共通の課題に沿って受講者各自が録音調査を実践する。	人社棟音声実験室B613にて行う 2016年度より4年おき開講。
02DT402	日本語音韻研究(1B)	1	1.5	1-5					音声・音韻研究に必要な音声データ処理の方法を身につける。実地で得られた録音資料を用いて音声アノテーションを行い、スクリプトファイルを作成してデータの測定と分析を実践する。	人社棟音声実験室B613にて行う 2016年度より4年おき開講。
02DT403	日本語音韻研究(2A)	1	1.5	1-5					音声資料の分析と記述を実践し、近年の日本語に生じつつある音調変異の実態と特性について考察する。	2017年度より4年おき開講。 01B4347と同一。
02DT404	日本語音韻研究(2B)	1	1.5	1-5					音声資料に基づいて構築したデータを分析し、音調変異現象の諸特性について多角的な検討と考察を行う。	2017年度より4年おき開講。 01B4348と同一。
02DT405	日本語音韻研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A620	那須 昭夫	音韻理論の基礎的な事項について考察しつつ、実際の音韻現象の分析を行う。毎回の課題について受講者による発表と討議を行う。	2018年度より4年おき開講。 01B4340と同一。
02DT406	日本語音韻研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A620	那須 昭夫	音韻理論の発展的な事項について考察しつつ、実際の音韻現象の分析を行う。毎回の課題について受講者による発表と討議を行う。	2018年度より4年おき開講。 01B4342と同一。
02DT407	日本語音韻研究(4A)	1	1.5	1-5					分節音韻論に関する近年の論考を講読し、分析の基盤となる諸理論について理解を深めつつ、日本語音韻研究の新たな課題を探る。	2014年度より4年おき開講。
02DT408	日本語音韻研究(4B)	1	1.5	1-5					韻律現象に関する近年の論考を講読し、分析の基盤となる諸理論について理解を深めつつ、日本語韻律研究の新たな課題を探る。	2014年度より4年おき開講。
02DT409	日本語音韻研究(5A)	1	1.5	1-5					日本語の音韻現象ならびに音韻理論に関する近年の論考を講読し、先行研究での考察を批判的に検討しつつ、日本語音韻研究の新たな課題を探る。	2015年度より4年おき開講。
02DT410	日本語音韻研究(5B)	1	1.5	1-5					日本語の韻律現象に関する近年の論考を講読し、分析の基盤となる手法や理論について理解を深めつつ、日本語韻律研究の新たな課題を探る。	2015年度より4年おき開講。
02DT411	日本語文法研究(1A)	1	1.5	1-5					日本語の意味論・語用論における、主として1980年代・現在までの研究からいくつかのトピックを選び検討・議論する。初回受講者の希望にもよるが、導入としては有田節子2015を取り上げる予定。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT412	日本語文法研究(1B)	1	1.5	1 - 5					現代日本語・古典日本語の意味論・語用論におけるトピックを、史的变化にも留意しながら検討する。初回受講者の希望にもよるが、導入としては衣畑智秀2014を扱う予定。	2016年度より4年おき開講。
02DT413	日本語文法研究(2A)	1	1.5	1 - 5					日本語の意味論・語用論的研究の方法論について、具体的なケースワークの中で検討する。受講者の希望にもよるが、導入としては本多啓2016と関連論文を読む。	2017年度より4年おき開講。
02DT414	日本語文法研究(2B)	1	1.5	1 - 5					古典日本語を含む、日本語文法論の検討。受講者の希望にもよるが、導入としては金水2015とその周辺論文を読む予定。	2017年度より4年おき開講。
02DT415	日本語文法研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火3	人社A206	橋本 修	現代日本語・古典日本語の文法論で近年扱われているトピックについて議論する。受講者のオリジナルな論考を提示してもらうこともある。	2018年度より4年おき開講。
02DT416	日本語文法研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	人社A206	橋本 修	現代日本語・古典日本語の文法論で近年扱われているトピックについて議論する。受講者のオリジナルな論考を提示してもらうこともある。	2018年度より4年おき開講。
02DT417	日本語文法研究(4A)	1	1.5	1 - 5					日本語意味論・語用論に関する動向を検討し、いくつかのトピックについて論考の検討・解説を行う。可能な範囲で他言語との対照も視野に含める。	2014年度より4年おき開講。
02DT418	日本語文法研究(4B)	1	1.5	1 - 5					日本語意味論・語用論における近年の論考を、方言・古典語等も視野に入れながら検討する。導入としては青木博史編2011所収の論文を検討する予定。	2014年度より4年おき開講。
02DT419	日本語文法研究(5A)	1	1.5	1 - 5					現代日本語の主として意味論・語用論・語彙論についての研究動向と研究課題について検討する。受講者による発表も行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT420	日本語文法研究(5B)	1	1.5	1 - 5					現代日本語、古典日本語の意味論・語用論について、研究史を含めて検討する。受講者による発表も行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT427	日本語史研究(4A)	1	1.5	1 - 5					日本語史研究上の諸問題を取り上げ講義する。本講義では日本語における体系変化と個別変化に関わる問題を取り上げる。1上代日本語における音韻体系と文法体系の関わり2音韻体系と語彙体系の関わり(いわゆる「音便現象」、長音の発生、清・濁)3日本語表記システムの変遷	2014年度より4年おき開講。
02DT428	日本語史研究(4B)	1	1.5	1 - 5					日本語史研究上の諸問題について講義する。本講義では、日本語における自己と他者の関係表示に関する問題を取り上げる。1授受表現の発達(待遇表現の変化)2性差の変遷3ネーミング(命名)・呼称	2014年度より4年おき開講。
02DT431	日本語史料研究(1A)	1	1.5	1 - 5					中世から近世への日本語史料として、狂言諸台本の位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』巻四を読む。	2016年度より4年おき開講。
02DT432	日本語史料研究(1B)	1	1.5	1 - 5					『狂言記拾遺』巻四の曲と残された諸流の狂言台本との間で筋立てや用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2016年度より4年おき開講。
02DT433	日本語史料研究(2A)	1	1.5	1 - 5					中世から近世への日本語史料として、狂言諸台本の位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』巻五を読む。	2017年度より4年おき開講。 01B4506と同一。
02DT434	日本語史料研究(2B)	1	1.5	1 - 5					『狂言記拾遺』巻五の曲と残された諸流の狂言台本との間で筋立てや用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2017年度より4年おき開講。 01B4507と同一。
02DT435	日本語史料研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火4	人社A207	大倉 浩	狂言の日本語史料としての価値を考える。享保15年刊『狂言記拾遺』巻五を読む。	2018年度より4年おき開講。 01B4508と同一。
02DT436	日本語史料研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火4	人社A207	大倉 浩	各流派の狂言台本や現行狂言の映像と『狂言記拾遺』との比較を通して、狂言の日本語史料としての価値を考える。	2018年度より4年おき開講。 01B4509と同一。
02DT437	日本語史料研究(4A)	1	1.5	1 - 5					狂言諸台本の日本語史料としての位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DT438	日本語史料研究(4B)	1	1.5	1 - 5					残された諸流の狂言台本を『狂言記拾遺』と用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2014年度より4年おき開講。
02DT439	日本語史料研究(5A)	1	1.5	1 - 5					日本語史料としての狂言台本の位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』巻四を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DT440	日本語史料研究(5B)	1	1.5	1 - 5					『狂言記拾遺』巻四と残された諸流の狂言台本との間で用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2015年度より4年おき開講。
02DT441	現代日本語研究(1A)	1	1.5	1 - 5					現代日本語について、さまざまな角度から検討を加える。この授業は、言語学的な追究とともに、それが現在の社会的な課題を解決するのにどのように寄与するのかについての検討も行う。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT442	現代日本語研究(1B)	1	1.5	1 - 5					現代日本語について、さまざまな角度から検討を加える。表現や理解に関わる複合な現象について、日本語学の観点から検討する。この授業では、従来の言語学的知見が、このような課題に対しどのように寄与するか、また、解決のためにはどのような研究が望まれているのか等、複合的融合的課題を解決するための言語学的アプローチとは何かを考えていく。	2016年度より4年おき開講。
02DT443	現代日本語研究(2A)	1	1.5	1 - 5					現代日本語について、さまざまな角度から検討を加える。言語学的な追究と社会的な課題解決との関わりについて検討する。	2017年度より4年おき開講。
02DT444	現代日本語研究(2B)	1	1.5	1 - 5					現代日本語について、さまざまな角度から検討を加える。表現や理解に関わる複合な現象について、日本語学の観点から検討する。従来の言語学的知見が、このような課題に対しどのように寄与するか、また、解決のためにはどのような研究が望まれているのか等、複合的融合的観点から検討する。	2017年度より4年おき開講。
02DT445	現代日本語研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水3	人社A207	矢澤 真人	現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析するとともに、言語教育分野における課題と言語研究との関わりについて検討していく。	2018年度より4年おき開講。
02DT446	現代日本語研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水3	人社A207	矢澤 真人	現代日本語に見られる種々の言語現象について分析するとともに、文法教育と文法研究との関わりについて検討していく。	2018年度より4年おき開講。
02DT447	現代日本語研究(4A)	1	1.5	1 - 5					現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析していくとともに、文法研究と語彙研究との関わりについて検討していく。	2014年度より4年おき開講。
02DT448	現代日本語研究(4B)	1	1.5	1 - 5					現代日本語に見られる種々の言語現象について分析するとともに、文法情報と語彙情報の辞書における記述について検討していく。	2014年度より4年おき開講。
02DT449	現代日本語研究(5A)	1	1.5	1 - 5					現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析していくとともに、外国語との対照について検討していく。	2015年度より4年おき開講。
02DT450	現代日本語研究(5B)	1	1.5	1 - 5					現代日本語に見られる種々の言語現象について分析するとともに、文法研究の翻訳論への寄与について検討していく。	2015年度より4年おき開講。
02DT451	日本語学演習(1A)	2	1.5	1 - 5					日本語学研究に関するトピックの検討。主として受講者のオリジナル発表と討議による。	2016年度より4年おき開講。
02DT452	日本語学演習(1B)	2	1.5	1 - 5					対照研究を含めた、日本語研究の討議。受講者のオリジナル発表を中心とし、プレゼンテーションの練習を含む。	2016年度より4年おき開講。
02DT453	日本語学演習(2A)	2	1.5	1 - 5					日本語学領域における最新動向を踏まえたオリジナル研究を目指して発表、討議を行う。	2017年度より4年おき開講。
02DT454	日本語学演習(2B)	2	1.5	1 - 5					対照研究・社会言語学的研究を含めた日本語学のオリジナル発表および検討。あわせて周辺領域への情報提示、広報技術の向上を図る。	2017年度より4年おき開講。
02DT455	日本語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5					日本語研究の方法と実践をテーマとする演習。受講者の研究発表とそれについての討議を中心に進める。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT456	日本語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5					日本語研究の最新の情報に触れながら、自身の研究を磨く演習。受講者の研究発表とそれについての討議を中心に進める。	2018年度より4年おき開講。 2018年度開講せず。
02DT457	日本語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					日本語研究の方法と実践をテーマとし、受講者の研究発表とそれについての全員の討論によって進める演習。	2014年度より4年おき開講。
02DT458	日本語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					最新の日本語研究に触れ、受講者自身の研究を磨く演習。学会発表や論文投稿を念頭に、受講者の研究発表と全員の討論を中心に進める。	2014年度より4年おき開講。
02DT459	日本語学演習(5A)	2	1.5	1 - 5					日本語学領域に関するオリジナルの発表・討議およびサーベイ。	2015年度より4年おき開講。
02DT460	日本語学演習(5B)	2	1.5	1 - 5					日本語学領域に関するデータ紹介検討、プレゼンテーション。	2015年度より4年おき開講。
02DT461	日本語史研究I(1A)	1	1.5	1 - 5					「日本語の歴史を研究する」とか「日本語の歴史を記述する」ということは、どのような行為なのかということについて再認識することを出発点とする。そして、従来の日本語史記述とは異なる立場、異なる視点からの記述があり得ることを理解し、そういう立場、視点からの具体的な日本語史記述を試みる。さらに、そのような新たな立場、視点からの日本語史記述には、どのような意義があるのかという点についても考えていく。具体的な記述対象としては、後期江戸語をとりあげる予定である。基本的には講義中心の授業とする。 可能なら受講前に『幻想の敬語論』(福島直恭著・2013年、笠間書院)を読んでおくこと講義内容が理解しやすいと思う。	2015年度より4年おき開講。
02DT470	日本語学特講(1)	1	1.0	1 - 5					教室は共同利用棟 D 207-2室です。 TWINSは5月10日から7月11日までです。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT471	日本語学特講(2)	1	1.0	1-5					現代日本語の語彙を例として言語の量的な性質とその意味を考える。語彙の分布法則などいくつかの経験則を検証するとともに、新たな指標の有用性を検討する。また、言語の定量的な研究と定性的な研究との関係についても考察する。	12月27日 人社A201 12月28日 人社A202 2017年度より4年おき開講。
02DT480	日本語学演習I(1A)	2	1.0	1-5	春ABC	集中		橋本 修, 矢澤 真人, 大倉 浩, 那須 昭夫	隣接領域との関わりを意識しながら、日本語研究の方法について検討を深める。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。	2018年度より4年おき開講。 8/9, 8/10
02DT481	日本語学演習I(1B)	2	1.0	1-5	秋ABC	集中		橋本 修, 矢澤 真人, 大倉 浩, 那須 昭夫	日本語研究の基本的な理念と、実用的な側面の双方について検討する。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。	2018年度より4年おき開講。 12/27, 12/28
02DT501	認知意味論(1A)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、認知的観点から見た構文の意味機能に焦点をあてる。	2016年度より4年おき開講。
02DT502	認知意味論(1B)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、言語使用のコンテキストと構文の機能との関係に焦点をあてる。	2016年度より4年おき開講。
02DT503	認知意味論(2A)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、形式主語の意味機能と認知の関係に焦点をあてる。	2017年度より4年おき開講。
02DT504	認知意味論(2B)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、話し手にまつわる言語現象に焦点をあてる。	2017年度より4年おき開講。
02DT505	認知意味論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月3	人社A207	和田 尚明, 廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、文法と認知の関係に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT506	認知意味論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月3	人社A207	和田 尚明, 廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、文の意味機能と文脈との関係に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT507	認知意味論(4A)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、言語の意味と認知に焦点をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT508	認知意味論(4B)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、構文の形式と機能に焦点をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT509	認知意味論(5A)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として時間の認知の仕方に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT510	認知意味論(5B)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、認知と語用論の関係に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT511	生成統語論(1A)	1	1.5	1-5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成文法における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、移動操作に関わる問題に焦点をあてる。	2016年度より4年おき開講。
02DT512	生成統語論(1B)	1	1.5	1-5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成文法における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、話題化と焦点化に関わる問題に焦点をあてる。	2016年度より4年おき開講。
02DT513	生成統語論(2A)	1	1.5	1-5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、投射とラベリングに関わる問題に焦点をあてる。	2017年度より4年おき開講。
02DT514	生成統語論(2B)	1	1.5	1-5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、併合と内心構造に関わる問題に焦点をあてる。	2017年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT515	生成統語論(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月4	人社A205	加賀 信広, 島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、併合操作に関わる問題に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT516	生成統語論(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月4	人社A205	加賀 信広, 島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、削除現象に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT517	生成統語論(4A)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、虚辞要素に関わる問題に焦点をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT518	生成統語論(4B)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、adpositionに関わる問題に焦点をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT519	生成統語論(5A)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、併合操作に関わる問題に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT520	生成統語論(5B)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、削除現象に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT521	英語意味論演習(1A)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知と構文の意味機能の関係を扱った論文を中心に行なう。	2016年度より4年おき開講。
02DT522	英語意味論演習(1B)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、言語使用と構文の意味機能の関係を扱った論文を中心に行なう。	2016年度より4年おき開講。
02DT523	英語意味論演習(2A)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心に行なう。	2017年度より4年おき開講。
02DT524	英語意味論演習(2B)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心に行なう。	2017年度より4年おき開講。
02DT525	英語意味論演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木4	人社A206	廣瀬 幸生, 和田 尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT526	英語意味論演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木4	人社A206	廣瀬 幸生, 和田 尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT527	英語意味論演習(4A)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心に行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DT528	英語意味論演習(4B)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心に行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DT529	英語意味論演習(5A)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、言語と認知の関係を扱った論文を中心に行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DT530	英語意味論演習(5B)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、文法と言語使用の関係を扱った論文を中心に行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DT531	英語統語論演習(1A)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、情報構造に関する論文を中心に行なう。	2016年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT532	英語統語論演習(1B)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、カートグラフィ理論に関する論文を中心に行なう。	2016年度より4年おき開講。
02DT533	英語統語論演習(2A)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、併合に関する論文を中心に行なう。	2017年度より4年おき開講。
02DT534	英語統語論演習(2B)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、ラベリングに関する論文を中心に行なう。	2017年度より4年おき開講。
02DT535	英語統語論演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5	人社A206	島田 雅晴, 加賀信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、関係節に関する論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT536	英語統語論演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5	人社A206	島田 雅晴, 加賀信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、数値表現に関する論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT537	英語統語論演習(4A)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、統語論と形態論の関係に関する論文を中心に行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DT538	英語統語論演習(4B)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、インターフェイスに関する論文を中心に行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DT539	英語統語論演習(5A)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、品詞論に関する論文を中心に行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DT540	英語統語論演習(5B)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、修飾構造に関する論文を中心に行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DT541	英語学特講(1A)	1	1.5	1 - 5					英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、基礎力の充実および発信力の強化を図る。	2016年度より4年おき開講。
02DT542	英語学特講(1B)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、特に修士論文執筆前の院生が英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力の強化を図る。	2016年度より4年おき開講。
02DT543	英語学特講(2A)	1	1.5	1 - 5					英語学研究を進めるうえで必要な基礎知識、英語表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、基礎力の充実および実践的な発信力の強化を図る。	2017年度より4年おき開講。
02DT544	英語学特講(2B)	1	1.5	1 - 5					英語で書かれた認知言語学の文献の輪読を通して、修士論文執筆前の院生が、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。	2017年度より4年おき開講。 01B8326と同一。
02DT545	英語学特講(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3	人社A206	金谷 優	英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、基礎的な表現力・発信力の充実を図る。	2018年度より4年おき開講。
02DT546	英語学特講(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3	人社A206	金谷 優	英語学の文献を教材として用いながら、修士論文執筆以前の大学院生が英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力の強化を図る。	2018年度より4年おき開講。 01B8324と同一。
02DT547	英語学特講(4A)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力の充実を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT548	英語学特講(4B)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、表現力の充実を図る。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT549	英語学特講(5A)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、考えをまとめて発信する能力の充実を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT550	英語学特講(5B)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力と問題解決への応用力の強化を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT601	フランス語学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、フランス語学における独自性のある研究とは何かを考察する。日本語とフランス語使用	2016年度より4年おき開講。
02DT602	フランス語学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、フランス語学における独自性のある研究とは何かを考察する。日本語とフランス語使用	2016年度より4年おき開講。
02DT603	フランス語学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、個別のテーマについて考察を進める。日本語とフランス語使用	2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT604	フランス語学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、個別のテーマについて考察を進める。日本語とフランス語使用	2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT605	フランス語学研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月5	人社B511	青木 三郎	現代フランス語研究の意義を明確にし、独自性のある研究とは何かを考察する。日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT606	フランス語学研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月5	人社B511	青木 三郎	独自性のある文法研究を視野にして、統語論・意味論・語用論の関係を捉える。  日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT607	フランス語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					現代フランス語研究の意義を明確にし、独自性のあるフランス語研究とは何かを事例を挙げながら理論的に考察する。日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT608	フランス語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					現代フランス語文法研究の最新成果を視野に入れて、統語論・意味論・語用論の関係を捉える。  日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT609	フランス語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5					グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、フランス語学における独自性のある研究とは何かを考察する。日本語とフランス語使用	2015年度より4年おき開講。
02DT610	フランス語学研究(5B)	1	1.5	1 - 5					英語、日本語、必要に於いてその他の言語構造・表現と比較しながら、フランス語の特有性について考察する。日本語とフランス語使用	2015年度より4年おき開講。
02DT611	フランス語学演習(1A)	2	1.5	1 - 5					フランス語の観察を通じて、言語主観性、談話、テキストの諸相について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2016年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT612	フランス語学演習(1B)	2	1.5	1 - 5					フランス語の観察を通じて、言語主観性、談話、テキストの諸相について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2016年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT613	フランス語学演習(2A)	2	1.5	1 - 5					フランス語の観察を通じて、文法カテゴリーの諸相について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT614	フランス語学演習(2B)	2	1.5	1 - 5					フランス語の観察を通じて、文法カテゴリーの諸相について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT615	フランス語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	月6	人社B511	青木 三郎	発話マーカ―を通じて、言語主観性について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT616	フランス語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	月6	人社B511	青木 三郎	発話マーカ―を通じて、発話間の連結に関するメカニズムについて分析する。日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT617	フランス語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					発話理論の基礎を紹介し、具体的な発話マーカ―の分析を通じて、言語主観性について理論的・実証的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT618	フランス語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					発話理論に基づき、具体的な発話マーカ―び分析を通じて、発話間の連結に関するメカニズムについて分析する。日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT619	フランス語学演習(5A)	2	1.5	1 - 5					フランス語の連結辞、文法小辞に注目し、フランス語に特有な言語主観性を考察するとともに、不変的性質について追究する。	2015年度より4年おき開講。
02DT620	フランス語学演習(5B)	2	1.5	1 - 5					フランス語のテキストにおける言説構成を分析し、事実の報道と真実の主張に関する体系的な考察を行う。日本語とフランス語使用	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT621	フランス語意味論(1A)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、論証的ポリフォニー理論に重点をおく。	2016年度より4年おき開講。
02DT622	フランス語意味論(1B)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、認知モード、アフォーダンスと語彙の関係に重点をおく。	2016年度より4年おき開講。
02DT623	フランス語意味論(2A)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、フランス語の語彙意味論に重点をおく。	2017年度より4年おき開講。
02DT624	フランス語意味論(2B)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、フランス語と日本語の語彙の対照研究に重点をおく。	2017年度より4年おき開講。
02DT625	フランス語意味論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社B512	渡邊 淳也	フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、モダリティに重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT626	フランス語意味論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社B512	渡邊 淳也	フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、モダリティとアスペクトとのかわりに重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT627	フランス語意味論(4A)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、認知モード(mode de cognition)の言語間比較に重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT628	フランス語意味論(4B)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期は発話動詞の周辺、とくに言いかえ(reformulation)の表現に重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT629	フランス語意味論(5A)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、メタ言語的註釈のマーカに重点をおく。	2015年度より4年おき開講。
02DT630	フランス語意味論(5B)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、認知モードとアフォーダンスに重点をおく。	2015年度より4年おき開講。
02DT631	フランス語文法論(1A)	1	1.5	1-5					フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、フランス語の未来諸時制(ならびに他言語で対応する時制)に重点をおく。	2016年度より4年おき開講。
02DT632	フランス語文法論(1B)	1	1.5	1-5					フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、フランス語の接続法(ならびに他言語で対応する時制)に重点をおく。	2016年度より4年おき開講。
02DT633	フランス語文法論(2A)	1	1.5	1-5					フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、迂言的諸時制と、その基底となる動詞の文法化に重点をおく。	2017年度より4年おき開講。
02DT634	フランス語文法論(2B)	1	1.5	1-5					フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、フランス語の各叙法(ならびに他言語で対応する叙法)に重点をおく。	2017年度より4年おき開講。
02DT635	フランス語文法論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社B512	渡邊 淳也	フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、動詞時制に重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT636	フランス語文法論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社B512	渡邊 淳也	フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、非定型動詞に重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT637	フランス語文法論(4A)	1	1.5	1-5					フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、時制体系に重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT638	フランス語文法論(4B)	1	1.5	1-5					フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、準動詞への対照言語学的アプローチに重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT639	フランス語文法論(5A)	1	1.5	1-5					フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、フランス語の単純未来形、条件法(ならびに他言語で対応する時制)に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT640	フランス語文法論(5B)	1	1.5	1-5					フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、フランス語の半過去(ならびに他言語で対応する時制)に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT641	フランス語学特講(1A)	1	1.5	1-5					ヨーロッパ地域の一言語であるフランス語の位置付けを歴史的・地理的・社会的側面から考察するために、日本におけるフランス語の位置付けをビッグデータ調査やフィールドワークを行う。	2016年度より4年おき開講。英語で授業。
02DT642	フランス語学特講(1B)	1	1.5	1-5					ヨーロッパ地域の一言語であるフランス語の位置付けを歴史的・地理的・社会的側面から考察するために、関連する文献を精読する。	2016年度より4年おき開講。英語で授業。
02DT643	フランス語学特講(2A)	1	1.5	1-5					「談話分析の実践研究」フランス語の談話構造を考察するために、メディアに現れるフランス語を観察しながら分析を試み、言語学者としての実践力を養う。	2017年度より4年おき開講。フランス語で授業。
02DT644	フランス語学特講(2B)	1	1.5	1-5					「談話分析の理論研究」フランス語を中心に談話分析やテキスト言語学の基本文献に触れながら基本概念を学ぶと同時に、研究方法を考察する。	2017年度より4年おき開講。フランス語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT645	フランス語学特講(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水2	人社A408	木田 剛	「語用論の方法論研究」フランス語を中心に語用論の基本文献に触れながら基本概念を学ぶと同時に、具体的なコーパスの観察を通して研究方法を考察する。	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT646	フランス語学特講(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水2	人社A408	木田 剛	「語用論の実践」フランス語のプロゾディやジェスチャーについて、関連する文献に触れながら、具体的なコーパスの観察を通して、語用論を応用する研究方法を考察する。	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT647	フランス語学特講(4A)	1	1.5	1 - 5					「接触場面と言語形成の理論」フランス国内のフランス語やフランス語圏の言語状況を概観することで、マクロの視点からも言語問題を取り扱うことに慣れ親しみ、ミクロ分析に応用できるような、言語学者としての実践力の涵養を目指す。	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT648	フランス語学特講(4B)	1	1.5	1 - 5					「接触場面と言語形成の理論」フランス国内のフランス語やフランス語圏の言語状況を概観することで、マクロの視点からも言語問題を取り扱うことに慣れ親しみ、ミクロ分析に応用できるような、言語学者としての実践力の涵養を目指す。	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT649	フランス語学特講(5A)	1	1.5	1 - 5					「誤用の文法と社会言語学」フランス社会における言語変種の特徴や社会的な分脈を考察しながら、社会言語学の基礎知識と実践力を涵養する。	Ce cours peut être dispensé en français, anglais ou japonais. La langue utilisée sera décidée selon le souhait de l'ensemble de participants. 2015年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT650	フランス語学特講(5B)	1	1.5	1 - 5					「第二言語習得とフランス語」フランス語学習者(またはフランス人の第二言語学習者)に現れる言語や談話の特徴を観察しながら、基本概念や用語の理解を通して、分析を試みる。	Ce cours peut être dispensé en français, anglais ou japonais. La langue utilisée sera décidée selon le souhait de l'ensemble de participants. 2015年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT701	ドイツ語学研究(1A)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における社会言語学的側面を考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DT702	ドイツ語学研究(1B)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における社会言語学的現象について考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DT703	ドイツ語学研究(2A)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における統語論的現象について考察する。	2017年度より4年おき開講。
02DT704	ドイツ語学研究(2B)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語と現代オランダ語における統語論的現象について考察する。	2017年度より4年おき開講。
02DT707	ドイツ語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT708	ドイツ語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」と「統語論」について考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT709	ドイツ語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」を考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT710	ドイツ語学研究(5B)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」と「統語論」について考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT715	ドイツ語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	金4	人社B505	大矢 俊明	ドイツ語学に関する文献を講読しながら、個々の問題について議論する。	2018年度より4年おき開講。
02DT716	ドイツ語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	金4	人社B505	大矢 俊明	ドイツ語学に関する文献を講読しながら、言語比較の問題について議論する。	2018年度より4年おき開講。
02DT721	ドイツ語意味論(1A)	1	1.5	1 - 5					ドイツ語と日本語の語彙ならびに構文をさまざまな観点から比較・対照する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2016年度より4年おき開講。
02DT722	ドイツ語意味論(1B)	1	1.5	1 - 5					ドイツ語と日本語における語彙、構文、さらに慣用句をさまざまな角度から比較し、その共通点ならびに相違点を探る。あわせて文献を精読する能力の向上を図る。	2016年度より4年おき開講。
02DT723	ドイツ語意味論(2A)	1	1.5	1 - 5					ドイツ語と日本語の語彙をさまざまな観点から比較・対照する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2017年度より4年おき開講。
02DT724	ドイツ語意味論(2B)	1	1.5	1 - 5					ドイツ語と日本語の語彙と句をさまざまな観点から比較・対照する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2017年度より4年おき開講。
02DT725	ドイツ語意味論(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較分析する。あわせてドイツ語文法知識の習得にも力を入れる。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT726	ドイツ語意味論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較分析し、その共通点と相違点を探る。あわせて、文献精読能力の向上にも力を入れる。	2018年度より4年おき開講。
02DT727	ドイツ語意味論(4A)	1	1.5	1-5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2014年度より4年おき開講。
02DT728	ドイツ語意味論(4B)	1	1.5	1-5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較し、その共通点ならびに相違点を探る。あわせて文献精読能力の向上を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT729	ドイツ語意味論(5A)	1	1.5	1-5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2015年度より4年おき開講。
02DT730	ドイツ語意味論(5B)	1	1.5	1-5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較し、その共通点ならびに相違点を探る。あわせて文献精読能力の向上を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT731	ドイツ語文法論(1A)	1	1.5	1-5					英語および日本語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的・形態的特徴を考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DT732	ドイツ語文法論(1B)	1	1.5	1-5					英語・オランダ語などの他のゲルマン諸語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的・形態的特徴を考察する。	2016年度より4年おき開講。
02DT733	ドイツ語文法論(2A)	1	1.5	1-5					英語やオランダ語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2017年度より4年おき開講。
02DT734	ドイツ語文法論(2B)	1	1.5	1-5					他のゲルマン諸語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2017年度より4年おき開講。
02DT735	ドイツ語文法論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金3	人社B505	大矢 俊明	現代ドイツ語におけるさまざまな構文を、関連文献を読みながら分析する。	2018年度より4年おき開講。
02DT736	ドイツ語文法論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金3	人社B505	大矢 俊明	現代ドイツ語におけるさまざまな構文を、おもに英語や日本語と比較対照しながら議論する。	2018年度より4年おき開講。
02DT737	ドイツ語文法論(4A)	1	1.5	1-5					英語や日本語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT738	ドイツ語文法論(4B)	1	1.5	1-5					関連文献を精読しながら、現代ドイツ語におけるいくつかの構文の特性を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT739	ドイツ語文法論(5A)	1	1.5	1-5					英語や日本語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT740	ドイツ語文法論(5B)	1	1.5	1-5					英語をはじめとする他のゲルマン諸語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT741	ドイツ語史研究(1A)	1	1.5	1-5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読しながら、文献を正しく理解し、その上で批判的かつ建設的に考察する能力の向上を図る。	2016年度より4年おき開講。
02DT742	ドイツ語史研究(1B)	1	1.5	1-5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読し、あわせて批判的に考察する能力を習得する。さらに教壇に立つことを想定し、ドイツ語の歴史的事実を踏まえた高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2016年度より4年おき開講。
02DT743	ドイツ語史研究(2A)	1	1.5	1-5					専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。ドイツ語史を踏まえた高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2017年度より4年おき開講。
02DT744	ドイツ語史研究(2B)	1	1.5	1-5					専門文献を精読する。教壇に立つことも想定し、ドイツ語史を踏まえた高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2017年度より4年おき開講。
02DT745	ドイツ語史研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水2	人社A610	伊藤 眞	専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2018年度より4年おき開講。
02DT746	ドイツ語史研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水2	人社A610	伊藤 眞	専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2018年度より4年おき開講。
02DT747	ドイツ語史研究(4A)	1	1.5	1-5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT748	ドイツ語史研究(4B)	1	1.5	1-5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2014年度より4年おき開講。
02DT749	ドイツ語史研究(5A)	1	1.5	1-5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT750	ドイツ語史研究(5B)	1	1.5	1-5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2015年度より4年おき開講。
02DT803	形態論特講(3)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社A201	田川 拓海	屈折形態論・派生形態論の研究における主要な理論・モデルや概念がどのような言語現象の分析において問題になるのか具体的に検討する。英語・日本語を中心に様々な言語を取り上げる。	2018年度より4年おき開講。
02DT808	文法論特講(3)	1	1.5	1-5	秋ABC	火6	人社A201	石田 尊	現代日本語の受動文を中心的な考察対象として、ヴォイスと他動性をめぐるいくつかの問題を検討していく。取り上げた問題に対する受講者の分析を提示してもらう場合がある。	2018年度より4年おき開講。